

事 業 概 要

令和元年度版



東京都立図書館

令和元年7月

事業概要 令和元年度版

目 次

I	組織概要	
1	東京都立図書館運営方針	1
2	東京都立図書館運営組織図	3
3	東京都立図書館事務分掌	4
II	主要事業	
1	令和元年度 主要事業	5
2	平成30年度 主要事業報告	6
III	予算・決算	
1	令和元年度 予算	9
2	平成30年度 決算	10
IV	統計資料（平成31年3月31日現在）	
1	所蔵状況	11
2	オンラインデータベース・電子書籍の導入状況	12
3	図書館資料収集・整理統計	13
4	利用統計資料（平成30年度実績）	14
(1)	利用状況	14
(2)	登録利用者数	15
(3)	レファレンス件数	15
(4)	書庫内資料利用冊数	16
(5)	情報リテラシー支援件数	16
(6)	政策立案支援サービス件数	16
(7)	特別文庫室利用状況	17
(8)	音声・映像資料利用状況	17
(9)	視覚障害者等サービス状況	17
(10)	協力貸出状況	17
(11)	多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	18
(12)	ホームページ利用状況	18
(13)	多摩図書館 セミナールーム使用状況	18
V	事業実績（平成30年度）	
1	展示等の事業（展示・講演会等・映画会）	19
2	区市町村立図書館職員等への研修等	25
3	学校教育活動への支援事業	26
4	職員研修等	29
5	刊行物及びホームページでの情報提供	30
VI	所蔵コレクションの紹介	
1	中央図書館	31
(1)	特別文庫室資料	(2) 東京資料
(3)	海外資料	
2	多摩図書館	33
(1)	山本有三文庫	(2) 雑誌創刊号コレクション
(3)	児童・青少年資料	
VII	東京都立図書館協議会	34
VIII	資料	
1	東京都立図書館館則	37
2	東京都立図書館沿革	40
3	図書館関係団体・組織一覧	44
4	東京都立図書館ネットワーク概念図	45
5	東京都立図書館シンボルマーク	46
6	ホームページ及びソーシャルメディア	46
7	フロア概要	47
(1)	中央図書館	47
(2)	多摩図書館	50
8	案内図	52

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子供をはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

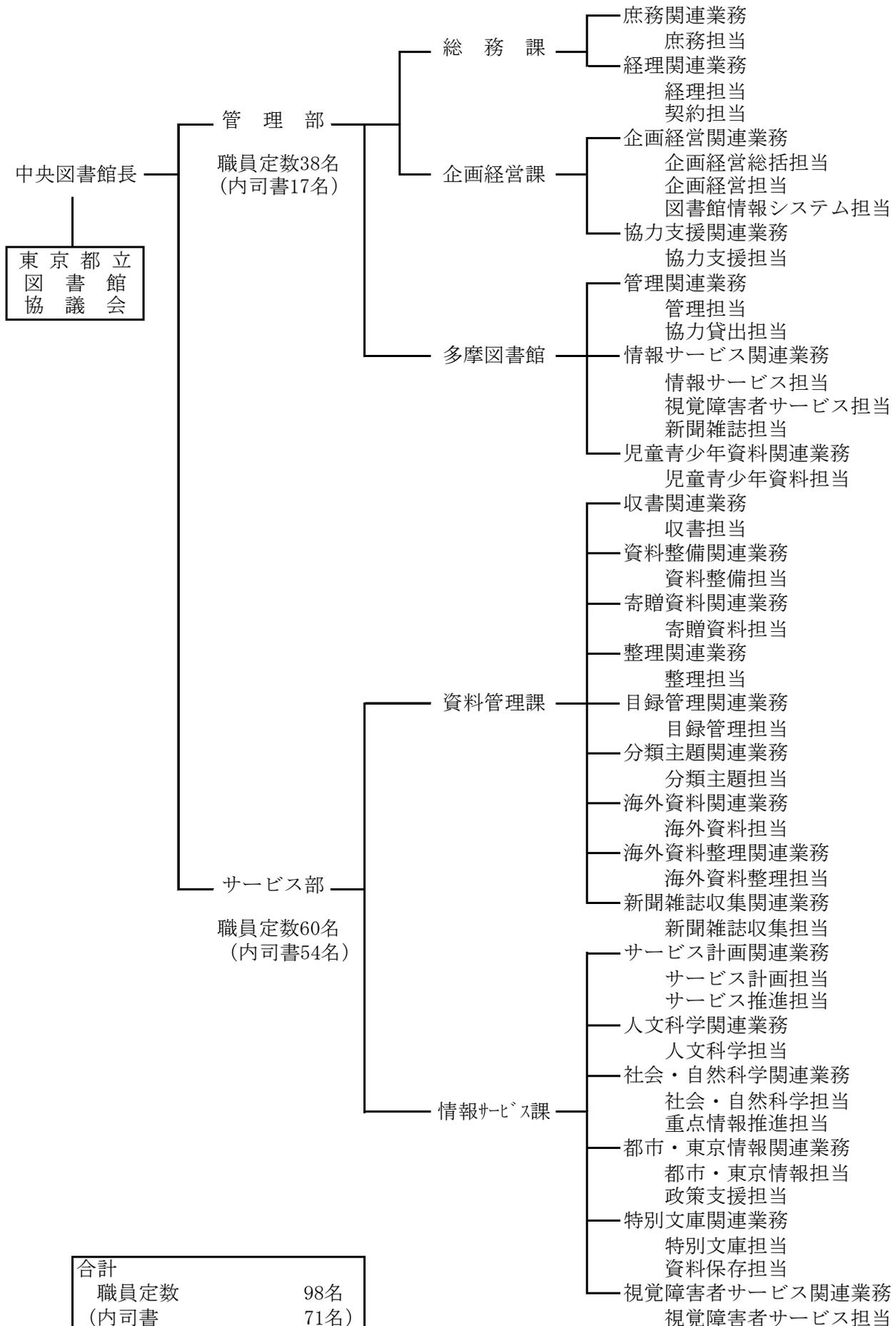
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
(東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
(東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(平成31年4月1日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の公文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
	図書館職員等の研修	
	海外の図書館等との交流に関すること	
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
多摩図書館の公文書の管理		
多摩図書館の広報・統計・調査		
多摩図書館のサービス計画に関すること		
多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存		
多摩図書館の図書館資料の利用に関すること		
雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援		
多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること		
多摩図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること		
多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること		
東京都立図書館条例別表に掲げる施設及び附帯設備の貸出しに関すること		
都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出し		
多摩図書館の利用案内に関すること		
多摩図書館の施設及び設備の維持管理		
多摩図書館の館内の取締り		
サービス部	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること （他の課等において処理するものを除く）
	情報サービス課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び 都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音等に関すること
		中央図書館の図書館資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

Ⅱ 主要事業

1 令和元年度主要事業

「都立図書館実行プラン to 2020」（平成30年1月）に基づき、以下の3本の事項を柱として定め、各施策を展開する。3か年計画の2年目である令和元年度は、以下の事業に重点的に取り組む。

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

- ア 2020年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信
- イ 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

【具体的な取組】

中央図書館1階3展示コーナーの利用促進、オリンピック・パラリンピック関係資料の収集・活用、区市町村立図書館との連携事業実施、デジタル化画像を活用した情報発信強化 等

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

- ア レファレンス機能の強化
- イ 利用者のアクティブな学びの支援
- ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実
- エ 学校への支援拡充
- オ 都政への支援拡充

【具体的な取組】

レファレンスサービスの概要や事例の効果的なPR及び発信、東京マガジンバンクカレッジ関連事業の発展、英語による外国人向けガイダンスの定例開催、国際交流団体等との連携事業実施、校外学習パッケージを活用した支援の充実、政策立案支援サービスの広報強化 等

(3) 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

- ア 館内施設の有効活用
- イ 学びの空間、施設、設備の充実
- ウ 多様な情報源へのアクセス環境整備
- エ 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

【具体的な取組】

「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた拠点空間の提供、劣化度調査に基づく施設整備、電子書籍検索の機能の向上、職員育成基本方針の改定・新方針に基づく実施 等

《共通の施策》 広報活動を刷新し、積極的な情報発信やPRを行う。

上記3本の柱の各事業を効果的に進めるために、横断的な取組として、積極的な広報活動を展開する。

- ア 新たな手法による情報発信強化
- イ 広報活動の枠組や体制の整備

【具体的な取組】

図書館利用動画コンテンツ多言語版の作成・発信、「顔の見える」広報の実施、利用者とのつながりによる広報の実施、外国人をターゲットにした広報の実施 等

2 平成 30 年度 主要事業報告

(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連情報をはじめとした「東京」情報を国内外に広く提供・発信する。

ア 2020 年に向けた機運醸成、東京における様々な活動記録の収集・発信

1 階フロアに設置した 3 展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）の更新を定期的に行い、内容の充実を図るとともに、SNS 等を活用し利用を促進した。また、2020 年に向け機運を高めることを目的に、パラスポーツの魅力伝える写真展やパラスポーツ体験イベント、現代文化に関する講演会等、多彩なイベントを実施した。更に、フランス大使館、アルゼンチン大使館、ペルー大使館等、連携先を拡大し、所蔵資料と関連付けた展示やワークショップ、シンポジウム等、様々なイベントを多面的に展開した。

資料収集の面では、オリンピック・パラリンピック関連図書や日本・東京を紹介する外国語資料等を積極的に収集した。また、様々な媒体の資料を幅広く集めることを目的として、東京都オリンピック・パラリンピック準備局や大会組織委員会との連携推進に努めた。

更に、区市町村立図書館とも連携し、7 月から 11 月まで「東京でおもてなし～56 年ぶりの夢～」を統一タイトルとしたオリンピック・パラリンピックに関する一斉展示を行った。都立図書館ホームページに特設ページを設け、集約した取組情報について発信した。各自治体においても共通ロゴを館内で掲示するなど、連携して PR を行った。

イ 世界に開かれた都市、首都東京の図書館としての「東京」情報の集積・提供・発信

中央図書館では、東京府開設 150 年を記念し、企画展示「東京 150 年 変遷し続ける都市 東京」を開催したほか、同時期に公開講座「東京 150 年 東京における景観の変遷」を 2 回実施した。また、当館の江戸・東京関係資料のデジタル化を計画的に進めるとともに、インターネットを通じて「TOKYO アーカイブ」、「江戸・東京デジタルミュージアム」として国内外に公開した。インターネットで公開した資料の累計は、特別文庫室の貴重資料は 45,000 点、東京関係資料については 5,000 点を超えた。また、東京関係の貴重な音声・映像資料の利用活性化に向け、5 階から 1 階に「音声・映像コーナー」を移設した。

多摩図書館では、所蔵する 16 ミリフィルムの DVD への媒体変換を試行実施し、フィルムの活用や媒体変換の基本的な考え方をまとめた。

(2) 東京に集う人々の多様な知的活動や「学び」を支援する。

ア レファレンス機能の強化

重点的情報サービス（ビジネス情報、健康・医療情報、法律情報）の実施に際し、ビジネスパーソンや女性等、ターゲット層を明確にした上で講演会を企画・実施した。また、創業に関する機関や病院等の機関との連携を強化し、得られた情報を活かして重点的情報サービスの充実に取り組んだ。更に、より多くの都民に都立図書館のレファレンスサービスを理解していただくため、ホームページや SNS 等での情報発信を行うとともに、近隣の専門図書館等との連携強化を図り、専門図書館等を通じた利用拡大に取り組んだ。

イ 利用者のアクティブな学びの支援

中央図書館では、利用者の多様な知的欲求に応えるため、従来から行ってきた図書館見学ツアーについて、「古き東京を知るツアー」「本の修復見学と和装本づくりツアー」等、多彩なテーマを設定の上、年間 27 回実施した。また、より幅広い調査研究活動に資するため、大学のゼミに対する広報活動を行った。

多摩図書館では、東京マガジンバンクカレッジ事業として、「雑誌総合」、「多摩」、「鉄道」のセクションごとに、年間を通じて講演会や連続ワークショップ等を実施した。東京マガジンバンクカレッジの個人パートナーについては、交流会開催のほか、企画展示への作品

提供やパートナー通信の原稿執筆の機会を提供するなど、今後の主体的な活動を促進するための取組も行った。団体パートナーについては多摩図書館との協働事業として見学会を実施した。また、大学のゼミの見学を受け入れたほか、所蔵資料や館内施設を活用して大学生の情報探究活動や研究成果発表を支援する企画案をとりまとめた。

更に、多摩図書館の図書館見学ツアーについては、企画展示と関連したツアーや視覚障害者サービスを紹介するツアー等、趣向をこらしたツアーを実施し、図書館利用の促進を図った。

ウ 外国語資料を活用したサービス・支援の充実

中央図書館では、外国人を対象に、英語による図書館利用ガイダンスや3展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）の案内を実施したほか、各国大使館や国際交流団体等と連携・協力し、企画展示や留学説明会等、様々な事業を実施した。また、外国人利用者のスムーズな図書館利用に向け、31か国語対応の外国語翻訳アプリの活用促進を図った。

多摩図書館では、国分寺市国際協会が実施する日本語学習教室で多摩図書館を紹介する英語によるガイダンスを2回行った。また、企画展示開催中に外国人を対象とした英語によるギャラリートーク及びバックヤードツアーを2回実施した。国分寺市国際協会と連携して、外国人対象の日本語教室における広報活動及び外国人向け各種事業の広報を行った。更に、翻訳アプリや指さしマニュアルを活用し、各窓口で外国人対応をスムーズにできるよう体制を整えた。

エ 学校への支援拡充

都立学校等へのヒアリングを実施し、その結果を踏まえて学校支援サービスの整理・拡充を行った。「学校支援サービスの考え方」を策定して体制を明確にするとともに、校外学習等の既存の実施内容をプログラムとして整理し、利用手続と窓口を明確にした。これに併せて、学校支援サービスのホームページもさらに分かりやすく整理した。

また、選書の参考になるブックリストへのニーズが高いことがヒアリングから分かったため、「書評情報通信」や「修学旅行準備に役立つブックリスト」の発信を新たに開始した。

中央図書館では、都立学校からの大規模な学校受入れが増加した。多摩図書館では、特別支援学校を対象とする選書等相談会の参加校数が増加した。

オ 都政への支援拡充

都政における施策推進を図書館資料や情報の面から支援することを目的に、各局研修等の機会を活用し「政策立案支援サービス」の広報を行ったほか、各局の研修担当に対し同サービスの案内を積極的に行った。また、都が設置する専門図書館等との連携の活性化を図った。

(3) 「ハコ・モノ・ヒト」の充実を図り、より良い利用環境を構築する。

ア 館内施設の有効活用

中央図書館では、展示スペース等の貸出の促進を図り、7月に「アートキャラバン展」、12月に水道局及び総務局へ新規貸出のほか、1月に港区公園事務所の影絵プロジェクトや国際交流基金、3月にバヌアツ友好協会等へ貸し出した。11月には施設貸出を一層促進するため、施設利用に関する運用ルールを定めるとともに、全局向けに施設の利用状況をTAIMS上で公開した。

多摩図書館では、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた拠点空間の提供のため、閲覧エリアやグループ閲覧室において校外学習の受入れを行った。受入れに当たっては、事前に学校と打ち合わせ、学習課題の参考になる資料を用意した。また、当日は資料紹介やインターネットの検索方法を教える等の支援も行った。

イ 学びの空間、施設、設備の充実

中央図書館では、利用者のニーズに対応するため、自由に議論しながら調査研究を行ったり、異業種交流を行ったりする場として、無料Wi-Fiを備えた「交流ルーム」を5階に設置した。また、利用者アンケートを踏まえ「調査研究ルーム」を3席増設するとともに、利用者トイレについては、計画的に利用頻度に応じた改修工事を行っている。

ウ 多様な情報源へのアクセス環境整備

OPAC上で図書等の所蔵資料と一括して検索ができるよう、電子書籍の書誌、所蔵データを都立図書館情報システムに登録した。電子書籍閲覧の利便性向上について検討した。

エ 利用者と資料・情報をつなぐ人材の育成

都立図書館の情報サービスを支え、直面する課題の解決に取り組む専門職員等の育成を目指し、司書職員育成方針の見直しを進めるとともに、OJTや館内研修、派遣研修等に取り組んだ。

また、都立図書館の効率的な事業運営を可能とする館内情報共有の場としての「企画会議（拡大・個別）」を12月に設置し、運用を開始した。

(4) 広報活動を刷新し、積極的な情報発信やPRを行う。

ア 新たな手法による情報発信強化

都立図書館の認知度向上と利用促進のため、例年出展している「みなと区民祭り」に加え、10月に東京都が主催した「東京150年祭」（浜離宮恩賜庭園）に出展した。

SNSの発信については、告知記事等だけではなく図書館の裏側や、イベント参加者の声を発信する等の取組を行った。

また、外国人を対象とした広報として、東京都観光協会や各自治体の国際交流協会に「都立図書館利用案内」外国語版（英・中・韓）や外国人向けの資料を送付した。都立図書館ホームページの外国語ページに東京文化財ウィーク等のイベント情報を掲載した。

イ 広報活動の枠組や体制の整備

館内施設の写真を都立図書館ホームページに公開し、個人が自由に使用できる環境を整備した。また、「館内外撮影規程」を都立図書館ホームページに公開し、営利目的の館内及び館外の撮影に関するルールを明確にした。

Ⅲ 予算・決算

1 令和元年度 予算

(千円)

項目	予算額			内 容
	令和元年度	平成30年度	増△減	
管理運営等	355,455 (10,094)	309,906 (11,900)	45,549 (△ 1,806)	都立図書館の管理運営、建物維持管理及び臨時的に要する経費（図書館改修工事含む）
サービス事業	164,693 (7,978)	164,693 (7,977)	0 (1)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業等のサービスに要する経費
資料収集・整理	389,170 (4,059)	387,113 (4,059)	2,057 (0)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔令和元年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 27,630 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 40,826 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,151 種 ・年鑑・年報 1,900 種 3 オンライン図書 33 種 4 電子書籍 290 種
電算システムの運営	145,278	144,623	655	図書館情報システムの管理運営及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,692 (1,292)	1,692 (1,292)	0 (0)	委員数 11名 定例会 年4回
業務委託	463,844 (137,016)	452,556 (130,262)	11,288 (6,754)	都立図書館の資料出納及び複写等の業務委託に要する経費
タイムリーな企画展	5,511	5,511	0	・大規模企画展 年3回 ・講演会・セミナー等 年6回 ・企画展 年4回
計	1,525,643 (160,439)	1,466,094 (155,490)	59,549 (4,949)	

(注) ・予算額中の()は、給与関係費(報酬、共済費、賃金、旅費)で内数

2 平成30年度 決算

(円)

項 目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		309,906,000 (11,900,000)	290,438,850 (4,630,457)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館 2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡ 地上3階 延 8,982㎡		
II サービス事業		164,693,000 (7,977,000)	154,793,548 (8,099,261)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報 2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 326日 入館者数 336,294人 開館日数 326日 入館者数 211,890人		
III 資料収集・整理		387,113,000 (4,059,000)	381,349,270 (4,501,279)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館 2 図書資料の整理 3 修理保全 4 蔵書目録	1 図 書 (1) 新刊和書 22,941冊 (2) 既刊書 1,047冊 (3) 洋書 4,969冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,287冊 (5) 電子資料 5枚 (6) 児童書(和書) 3,494冊 (7) 青少年図書(和書) 1,950冊 2 逐次刊行物 (1) 新聞 175種 (2) 雑誌 4,058種 (3) 年鑑・年報(和書) 1,348冊 (4) 年鑑・年報(洋書) 224冊		
IV 電算システムの運営		144,623,000	143,318,616
V 図書館協議会		1,692,000 (1,292,000)	1,330,098 (1,018,866)
VI 業務委託		452,556,000 (130,262,000)	444,798,845 (122,849,124)
VII タイムリーな企画展		5,511,000	3,182,966
計		1,466,094,000 (155,490,000)	1,419,212,193 (141,098,987)

(注) ・予算額・決算額中の()は、給与関係費(報酬、共済費、賃金、旅費)で内数

IV 統計資料 (平成31年3月31日現在)

1 所蔵状況

(1) 図書(年鑑・年報含む)

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1,351,610	258,446	1,610,056
	総 記	56,985	8,835	65,820
	哲 学	73,849	8,262	82,111
	歴 史	192,754	15,414	208,168
	社 会 科 学	369,562	32,889	402,451
	自 然 科 学	130,054	12,132	142,186
	技 術	146,248	15,104	161,352
	産 業	101,119	6,539	107,658
	芸 術	129,335	20,048	149,383
	言 語	27,517	4,798	32,315
	文 学	124,187	134,425	258,612
	東京資料	245,550	4,839	250,389
	児童資料	0	176,921	176,921
青少年図書	0	36,102	36,102	
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	168,516	34,492	203,008
	一 般 書	166,764	13,974	180,738
	東京資料	1,752	15	1,767
	児童資料	0	20,502	20,502
	青少年図書	0	1	1
	中国語図書	70,491	4,685	75,176
	一 般 書	70,164	159	70,323
	東京資料	327	1	328
	児童資料	0	4,525	4,525
	青少年図書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	22,987	2,233	25,220
	一 般 書	22,707	50	22,757
	東京資料	280	2	282
児童資料	0	2,181	2,181	
青少年図書	0	0	0	
特 別 文 庫	243,469	0	243,469	
山本有三文庫	0	13,560	13,560	
計	2,102,623	531,278	2,633,901	

(注1)各館の所蔵冊数には、都立図書館収蔵庫配置資料を含む。

(注2)特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

(タイトル)

区分		中央図書館				多摩図書館				合計	
		新聞雑誌	東京資料	特別文庫 (注1)	小計	新聞雑誌	児童青少年 資料	東京資料	小計		
新聞	日本語	継続	183	224	0	407	45	10	33	88	495
		終刊・中断	245	388	45	678	86	20	0	106	784
		小計	428	612	45	1,085	131	30	33	194	1,279
	外国語	継続	27	8	0	35	2	0	0	2	37
		終刊・中断	46	14	0	60	2	1	0	3	63
		小計	73	22	0	95	4	1	0	5	100
計		501	634	45	1,180	135	31	33	199	1,379	
雑誌	日本語	継続	1,339	520	0	1,859	5,440	174	0	5,614	7,473
		終刊・中断	2,185	1,585	255	4,025	11,504	713	21	12,238	16,263
		小計	3,524	2,105	255	5,884	16,944	887	21	17,852	23,736
	外国語	継続	68	9	0	77	423	20	0	443	520
		終刊・中断	59	10	329	398	1,170	64	0	1,234	1,632
		小計	127	19	329	475	1,593	84	0	1,677	2,152
計		3,651	2,124	584	6,359	18,537	971	21	19,529	25,888	
マイクロフィルム (注2)		16 (15,981)	12 (1,593)	—	28 (17,574)	16 (10,639)	3 (13)	4 (152)	23 (10,804)	—	

(注1)冊数。p.11の「特別文庫所蔵数243,469冊」の内数。

(注2)下段()は、リール数。その他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区分	映画フィルム		ビデオ テープ	LD・ DVD	スライド フィルム	レコード・CD ()はCDで内数	録音 テープ	航空写真 ネガフィルム
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	2,254	264	5,766 (1,718)	1,138	113
多摩図書館	9,461	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区分	録音資料		点字資料		点字雑誌・新聞		録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デージー	点字資料	点字雑誌・新聞	録音テープ	デージー	録音雑誌・新聞	デージー
中央図書館	3,616点 26,751巻	2,441点 2,465枚	693点 3,399冊	8種 3,855冊	7種 592点	13種 521枚	7種 592点	13種 521枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,376点 1,376枚	408点 1,695冊	11種 604冊	19種 4,418点	7種 373点	19種 4,418点	7種 373点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料(電子化に伴う複製物含む)

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	66,637点	9,329巻	6,444枚	36,287枚	4,235枚

2 オンラインデータベース・電子書籍の導入状況

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、オンラインデータベースを中央・多摩の両館で導入している。

電子書籍については、経済・財政史、歴史、古典文学、ビジネス関係等の日本語コンテンツ、オリンピック関係、日本文学作品の翻訳、多読資料等の英語コンテンツを導入し、中央・多摩の両館で、専用端末により館内提供している。

(種)

区分	オンラインデータベース 導入数
無料	33
有料	1

(タイトル)

区分	電子書籍 タイトル数
日本語コンテンツ	1,227
英語コンテンツ	891

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料 (中央・多摩図書館)
購 入	38,265 (7,480)
受 贈	7,963 (309)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	12 (2)
計	46,240 (7,791)

(注) 年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料(原資料)の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換(電子化)に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	4,996
-------------------	-------

(2) 逐次刊行物受入状況

(タイトル)

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,572 (224)	138 (22)	37 (1)	931 (69)	3,127 (376)
受 贈	3,069 (29)	253 (11)	52 (1)	1,234 (13)	3,113 (81)
計	4,641 (253)	391 (33)	89 (2)	2,165 (82)	6,240 (457)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況

(冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	33,139	7,496	4,762	45,397

(4) 製本状況

(点)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
2,657	1,391	0	4,048

4 利用統計資料（平成30年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

(人)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	
平成30年 4月	28	25,837	922	28	15,898	568	41,735
5月	29	31,479	1,085	29	18,616	642	50,095
6月	19	19,461	1,024	19	12,037	634	31,498
7月	29	29,256	1,008	29	20,357	702	49,613
8月	29	29,070	1,002	29	21,713	749	50,783
9月	28	26,433	944	28	16,965	606	43,398
10月	29	31,590	1,089	29	19,987	689	51,577
11月	28	30,346	1,084	28	18,419	658	48,765
12月	26	26,399	1,015	26	15,738	605	42,137
平成31年 1月	26	27,700	1,065	26	16,911	650	44,611
2月	26	28,627	1,101	26	18,294	704	46,921
3月	29	30,096	1,038	29	16,955	585	47,051
計	326	336,294	1,032	326	211,890	650	548,184

イ 複写枚数

(枚)

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	
平成30年 4月	28	95,024	3,394	28	16,004	572	111,028
5月	29	118,519	4,087	29	18,082	624	136,601
6月	19	87,318	4,596	19	11,624	612	98,942
7月	29	112,235	3,870	29	17,920	618	130,155
8月	29	132,175	4,558	29	18,186	627	150,361
9月	28	110,898	3,961	28	16,355	584	127,253
10月	29	105,495	3,638	29	19,183	661	124,678
11月	28	109,751	3,920	28	18,259	652	128,010
12月	26	103,218	3,970	26	16,345	629	119,563
平成31年 1月	26	100,105	3,850	26	15,695	604	115,800
2月	26	96,105	3,696	26	14,884	572	110,989
3月	29	97,420	3,359	29	15,848	546	113,268
計	326	1,268,263	3,890	326	198,385	609	1,466,648

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、総合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

(件)

(件)

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
平成30年 4月	887,108	200,759
5月	866,922	222,019
6月	830,206	216,606
7月	1,031,065	208,033
8月	918,344	218,082
9月	809,572	201,081

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
平成30年 10月	692,298	217,153
11月	620,216	209,266
12月	589,669	186,491
平成31年 1月	641,563	193,788
2月	594,992	192,403
3月	652,121	209,973
計	9,134,076	2,475,654

(2) 登録利用者数

登録利用者は、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。（ただし、Eメールレファレンスは、登録利用者以外も利用することができる。）

		(人)			(人)
区 分		各月末現在の登録利用者数	区 分		各月末現在の登録利用者数
平成30年	4月	4,602	平成30年	10月	6,049
	5月	4,868		11月	6,255
	6月	5,078		12月	6,457
	7月	5,366	平成31年	1月	6,738
	8月	5,611		2月	6,920
	9月	5,825		3月	7,108

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に、図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考となると思われる事例を当館ホームページや国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・病気の種類別の平均入院日数（在院日数）を知りたい。
- ・フィットネスクラブの最新の業界動向や市場動向・規模がわかる資料はあるか。
- ・関東大震災以後に芝浦2号地・芝浦日の出町に設けられたという仮市場の場所と規模を知りたい。
- ・昭和40年代に読んだ司馬遼太郎の連載小説について、タイトルと雑誌の連載期間を知りたい。

ア 質問形態内訳

〔都立図書館計〕

(件)

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1日平均	総 数	1日平均	
口 頭	26,604	82	12,355	38	38,959
電 話	23,966	74	4,503	14	28,469
ファクシミリ	34	0	0	0	34
文 書	1,108	3	469	1	1,577
Eメール	2,505	8	522	2	3,027
計	54,217	166	17,849	55	72,066

〔中央図書館〕

(件)

区 分	情報サービス課 4担当	音声・映像 資料室	特別文庫室	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	25,736	0	619	249	26,604	326	82
電 話	18,937	0	650	4,379	23,966	326	74
ファクシミリ	24	0	9	1	34	326	0
文 書	771	0	43	294	1,108	326	3
Eメール	2,301	0	119	85	2,505	326	8
計	47,769	0	1,440	5,008	54,217	326	166

(注) 音声・映像資料室は6月に閉室し、1階にコーナーとしてリニューアル。以降は情報サービス課4担当の内数とする。

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な対応が12,707件ある。

〔多摩図書館〕

(件)

区 分	情報サービス担当	児童青少年 資料担当	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	6,725	5,416	214	12,355	326	38
電 話	3,511	683	309	4,503	326	14
ファクシミリ	0	0	—	0	326	0
文 書	442	27	—	469	326	1
Eメール	87	235	200	522	326	2
計	10,765	6,361	723	17,849	326	55

イ 協カレファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

(件)

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都 内 公 立 図 書 館	区立図書館	8	41	49
	多摩地区市町村立図書館	14	158	172
	島しょ図書館	0	0	0
	小計	22	199	221
その他		10	27	37
計		32	226	258

(注)「その他」は、他道府県図書館及び大学図書館等

ウ 聴覚・言語障害者レファレンス件数

(件)

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内資料利用冊数

(冊)

中央図書館	
年間	236,253
1日平均	725

図書・新聞・雑誌の合計

多 摩 図 書 館					
	図 書		雑 誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌	
年間	35,353	(22,870)	135,637	(12,403)	170,990
1日平均	108	(70)	416	(38)	525

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

(件)

中 央 図 書 館				
情報サービス課4担当	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計
3,802	0	363	68	4,233

(注) 音声・映像資料室は6月に閉室し、1階にコーナーとしてリニューアル。以降は情報サービス課4担当の内数とする。

(注) 中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が 11,374件ある。

多摩図書館
812

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

(件)

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,158	110	2,268
都庁内貸出冊数	945	46	991
複写枚数	7,225	513	7,738

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

イ 複製・翻刻

開室日数(日)	閲覧者数(人)		閲覧数(冊)		複写関係						資料貸出		合計資料冊数		件	冊
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮影		即日複写		ネガ貸		件数	冊数	冊数	1日平均		
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数						
326	926	3	5,409	17	104	243	169	538	1,048	2,298	15	62	8,550	26	9	12

(8) 音声・映像資料利用状況

中央図書館では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、音声・映像コーナーで視聴できる。

利用者数(人)	利用点数(点)
842	1,596

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区分	登録者		対面音訳			受付数	テープ・デージー資料				受付数	点訳			
	利用者	音訳者	利用人数	音訳者数	音訳時間		テープ資料		デージー資料			作成数(冊)	貸出数		
							作成数(巻)	貸出数(巻)	作成数(枚)	貸出数(枚)			点字(冊)	FD(枚)	
中央図書館	283	80	345	522	1,364	0	0	152 (256)	21 (21)	3,919 (3,921)	4	4 (20)	88 (119)	48 (48)	
多摩図書館	106	18	230	303	734	7	0	22 (60)	19 (19)	1,803 (1,803)	2	2 (16)	1 (1)	0 (0)	

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System (デジタル録音図書) の略。

(注2) 貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞(テープ、デージー及び点訳)は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻(冊)数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸し出している。

(冊)

区分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合計
区立図書館	9,230	1,986	11,216
多摩地区市町村立図書館	56,450	3,645	60,095
島しょ図書館	451	0	451
計	66,131	5,631	71,762

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	66	93	28	28
多摩図書館	13	13	1	1
計	79	106	29	29

(11) 多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸し出している。

区 分		登 録 数	貸 出			
			件 数	点 数		
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体	63	207	577	本	
	特 別 団 体	10				
	うち、 長期貸出 島しょ	大島	—	12	120	本
		三宅		0	0	本
		八丈		0	0	本
		小笠原		5	29	本
計	—	17	149	本		
映 写 機 貸 出		—	29	29	台	

(12) ホームページ利用状況

(件)

区 分	トップページ アクセス数
平成30年 4月	72,705
5月	77,657
6月	72,449
7月	73,911
8月	74,677
9月	66,937
10月	70,234
11月	68,485
12月	64,092
平成31年 1月	69,257
2月	63,209
3月	63,118
計	836,731

(13) 多摩図書館 セミナールーム使用状況

多摩図書館では、研修等を行うセミナールーム（定員200名。100名の部屋に分割して使用可。）を設置し、多摩図書館での事業等に使用するほか、有料で貸し出している。

(件)

区 分	全面使用	分割使用	
		セミナールーム1	セミナールーム2
平成30年 4月	15	1	7
5月	14	4	6
6月	17	10	8
7月	24	10	6
8月	18	5	3
9月	11	16	12
10月	13	15	15
11月	10	8	7
12月	6	11	8
平成31年 1月	13	12	10
2月	20	3	5
3月	11	7	8
計	172	102	95

V 事業実績（平成30年度）

1 展示等の事業（展示・講演会等・映画会）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展示内容等		期間	会場	来場者数
イ図書館 ベント外	2018「青少年のための科学の祭典」東京大会in小金井	9月23日	東京学芸大学	一名
	みなと区民まつり	10月6日	増上寺・芝公園一帯	402名
	「Old meets New 東京150年」事業メインイベント「東京150年祭」	10月27日～10月28日	浜離宮恩賜庭園	999名
企画展示 中央図書館	「東京大会に向けて一瞬を撮る Feel The Paralympic」	7月26日～8月15日	中央図書館 企画展示室	3,291名
	「東京150年 変貌しつづける都市 東京」	9月1日～10月14日		7,808名
	東京文化財ウィーク2018参加企画展 「大江戸プリントー出版文化から見る江戸の世相ー」	10月27日～11月11日		4,527名
	世界の国のこともっと知ろう！番外編～中央アジア～	1月11日～2月11日		一名
	ペルー日本人移住120周年記念展示 「¡Vamos al Perú！～ペルーに渡った日本人～」	2月23日～5月26日		12,641名
1階ホール 展示	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示 「オリンピック・パラリンピックとスポーツ写真」	5月11日～9月5日	中央図書館 1階ホール展示コーナー*	
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示 「オリンピック・パラリンピックと観光」	9月7日～10月31日		
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「アスリートと食」	11月2日～2月6日		
	オリンピック・パラリンピックコーナー テーマ展示「聖火」	2月8日～5月8日		
	「和菓子のひととき ～いとおかし～」	5月11日～7月4日		
	「東京の祭り」	5月11日～7月4日		
	「遠くへ行きたい～江戸の旅と物見遊山～」	7月6日～9月5日		
	「江戸・東京の花火」	7月6日～9月5日		
	「温泉ものがたり～日本の湯のふるさと～」	9月7日～10月31日		
	「江戸・東京落語さんぽ」	9月7日～10月31日		
	「食卓の風景」	11月2日～2月6日		
	「江戸の味・東京の味」	11月2日～2月6日		
	「いけばな～花に託す永遠の美～」	2月8日～5月8日		
	「江戸・TOKYOおしゃれ図絵」	2月8日～5月8日		
	日本の漫画やアニメは好きですか？ Do You Like Japanese Manga and Anime?	5月11日～7月4日		
	日本の妖怪・幽霊・怪談 Japanese monsters, ghosts and ghost stories	7月6日～9月5日		
	にほんごをまなぶ Learn Japanese	9月7日～10月31日		
	和食の魅力 Taste of Japan	11月2日～2月6日		
	Fukushima&Kumamoto Japan earthquakes	2月8日～5月8日		
他機関主催 ミニ展示 関連	「フランス絵本の世界によろこ」関連展示	6月23日～7月8日	中央図書館 企画展示室ほか	
	「エミリオ・ファットゥー展：東方への道」関連展示	11月17日～12月12日		
	「総務局「拉致被害者救出運動」写真パネル展」関連展示	12月16日～12月27日		
	「世界一幸せな国バヌアツ写真展」関連展示	3月21日～3月27日		
社会・自然 ピク 展 科学系	「ビジネスリーダー講演会 出口流 グローバル活躍術」関連展示	7月4日～8月24日	中央図書館 社会・自然科学系 資料・閲覧室	
	「熱中症対策と涼しく過ごす工夫」	7月24日～9月5日		
	「いざという時のための防災」	9月7日～10月31日		
	「ノーベル医学生理学賞受賞！ 本庶佑氏」	10月2日～12月4日		
	「ビジネス講演会 お仕事小説から考える女性の働き方」関連展示	12月5日～2月8日		
	「ブリツカー賞 受賞！ 磯崎新氏」	3月8日～5月8日		
「平成のデジタル史」	3月22日～5月8日			
ミニ展示 東京都 情報	「江戸無血開城」	4月6日～5月9日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「東京の公園」	5月11日～6月6日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
都市・東京情報コーナーミニ展示	「小笠原諸島返還50周年」	6月8日～7月4日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「東京都の歴史的建造物」	7月6日～8月1日		
	「東京の博覧会」	8月3日～9月5日		
	「関東大震災(防災)」	9月7日～10月3日		
	「豊洲市場への移転と東京の市場」	10月5日～10月31日		
	「東京のイルミネーション」	11月2日～1月9日		
	「葛西海浜公園がラムサール条約湿地に登録されました！」	11月9日～1月9日		
	「東京の感染症予防・対策」	1月11日～2月6日		
	「平成の東京 1989-2019」Part1【トピック編】	1月11日～3月6日		
	「東京から多文化共生を考える」	2月8日～3月6日		
	「春の東京を歩く」	3月8日～4月3日		
	「平成の東京 1989-2019」Part2【変貌編】	3月8日～5月8日		
ビジネス情報ミニ展示	「起業という選択」	5月11日～7月4日	中央図書館 ビジネス情報コーナー*	
	「地域ブランディングの最前線！」	7月6日～9月5日		
	「はじめる！インバウンド」	9月7日～10月31日		
	「女性の働き方」	11月2日～1月9日		
	「2019年を予測する」	1月11日～3月6日		
	「就活対策！図書館のできる企業研究」	3月8日～5月8日		
法律情報ミニ展示	「土のつく職業法律編～困ったときの頼れる専門家たち～」	5月11日～7月4日	中央図書館 法律情報コーナー*	
	「もしも遺言が気になったら」	7月6日～9月5日		
	「どうする？民泊問題」	9月7日～10月31日		
	「ネットトラブルの法律知識」	11月2日～1月9日		
	「だまされない！消費者トラブル対策」	1月11日～3月6日		
	「介護と法律」	3月8日～5月8日		
健康・医療情報ミニ展示	「脳卒中」	5月11日～7月4日	中央図書館 健康・医療情報コーナー*	
	「紫外線」	7月6日～9月5日		
	「骨粗しょう症」	9月7日～10月31日		
	「健康・医療情報カレンダー」	11月2日～1月9日		
	「治療と仕事の両立」	1月11日～3月6日		
	「花粉症」	3月8日～5月8日		
トピック展示 人文科学系	「是枝裕和監督」	5月21日～7月4日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「ありがとう日本代表 ロシア ワールドカップ」	7月6日～7月22日		
	「追悼 桂歌丸」	7月6日～8月1日		
	「決定！第159回芥川賞・直木賞」	7月19日～9月5日		
	「決定！第160回芥川賞・直木賞」	1月22日～3月6日		
	「祝！全豪オープン優勝！大坂なおみ」	1月22日～3月6日		
	「ありがとう！イチロー」	3月27日～5月8日		
人文科学系ミニ展示	「もっと知りたい！西郷隆盛」	3月2日～5月8日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「スターウォーズヒストリー」	5月11日～7月4日		
	「ミケランジェロの世界」	7月6日～9月5日		
	「日本の漫画」	9月7日～10月31日		
	「狂言師 野村萬斎」	11月2日～2月6日		
	「江戸絵画の奇想」	2月8日～3月22日		
	「本の平成」	3月22日～5月8日		
美術情報コーナー 展示	「美人画の世界」	4月4日～5月8日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「煌めくガラス」	5月11日～6月11日		
	「琳派の系譜」	6月22日～7月4日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
美術情報コーナー 棚展示	「エッセイの世界」	7月4日～8月1日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「没後50年 藤田嗣治」	8月3日～9月5日		
	「漫画家・荒木飛呂彦」	9月7日～10月3日		
	「フェルメールを知りたい」	10月5日～10月31日		
	「ノルウェーの巨匠 エドヴァルド・ムンク」	11月2日～12月5日		
	「マイケル・ケンナ その作品と人物」	12月7日～1月9日		
	「アニメーションの美」	1月11日～2月6日		
	「新しい北斎」	2月8日～3月6日		
	「2018年展覧会図録」	3月8日～4月3日		
新聞・ 展ミニ誌	「時代を映す鏡＝雑誌でふりかえる「平成」」	3月22日～6月10日	中央図書館 新聞閲覧コーナー*	
東京マガジン バンク企画展示	「Old meets New 東京150年 変わりゆく東京 第1期 東京150年～公文書と絵図が語る首都東京の歴史～」	9月10日～10月18日	多摩図書館展示エリア	18,975 名
	「Old meets New 東京150年 変わりゆく東京 第2期 都域の拡大と変貌」	10月25日～12月16日		10,009 名
	「ぐるり！ 世界一周～比べてわかる、世界の国々～」	1月25日～3月14日		13,830 名
	「ヘイセイ→→ミライ～平成から未来へ～」	3月22日～6月10日		
資料担当 展ミニ 青少年	「あの人を知るための扉 絵本と児童文学の作家についての120冊」	6月22日～9月5日	多摩図書館企画展示エリア	14,667 名
	「あの人を知るための扉関連展示 石井桃子と岩波少年文庫」	8月3日～10月3日	多摩図書館展示ウォール*	
東京マガジン ウォール 展ミニ	ミニ展示「廃線を旅する」	3月26日～5月9日	多摩図書館雑誌エリア*	
	ウォール展示「雑誌で楽しむ花めぐり」	4月6日～6月11日		
	ミニ展示「高畑勲の仕事」	4月30日～6月11日		
	ミニ展示「是枝裕和監督のことば」	5月24日～6月11日		
	ウォール展示「特色のあるコレクション 山本有三文庫」	6月22日～8月1日		
	ミニ展示「『Hanako』30周年」	6月22日～8月1日		
	ミニ展示「海や山を楽しもう！」	8月3日～9月5日		
	ミニ展示「高校野球“甲子園”の雑誌～『輝け甲子園の星』」	8月3日～9月5日		
	ミニ展示「引退！ 女性誌で見る“安室奈美恵”」	9月7日～10月31日		
	ミニ展示「東京マガジンバンクの世界の雑誌」	9月7日～10月31日		
	ウォール展示「雑誌の表紙に見る“和”のこころ」	10月5日～12月5日		
	ミニ展示「雑誌と子供の本でわかる国分寺」	11月1日～12月5日		
	ミニ展示「認知症と生きる」	11月10日～12月5日		
	ウォール展示「創刊号に見る美術雑誌」	12月7日～2月6日		
	ミニ展示「おりがみで“おもてなし”」	12月7日～1月27日		
	ウォール展示「いちどは行きたい世界の国々」	2月8日～4月3日		
児童サー 展ミニ	「これならできる！ 自由研究」	6月22日～9月5日	多摩図書館児童エリア*	
	「本で世界を旅しよう！ アフリカ」	1月12日～7月4日		
	「本で世界を旅しよう！ オセアニア」	7月6日～2月6日		
	「本で世界を旅しよう！ 南北アメリカ」	2月8日～7月3日		
	「この本、知ってる？ ～開いてみよう！ 世界のことばで書かれた本～」	10月5日～12月5日		
	「ほん・本・ごほん」	通年		
青少年サー 展ミニ	「意外と身近な政治・法律・裁判」	通年	多摩図書館青少年エリア*	
	「こころと体」	通年		
	「高校生直木賞」	5月1日～5月31日		
	「がんばれ！ SAMURAI BLUE！」	6月1日～7月20日		
	「世界への扉をあけて」	7月10日～2月9日		
	「観てから読む？ 読んでから観る？」	7月21日～10月3日		
	「中高生のおすすめ本」	8月13日～		
	「東京2020にむけて 特別編」	10月5日～12月5日		
	「RUN!!」	12月7日～4月(予定)		
	「「伝える」を「伝わる」に」	12月13日～2月2日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
サ ー ビ ス 展 示	「読書で味わうチョコレート」	2月1日～3月17日	多摩図書館青少年エリア*	/
	「POP王が極意を伝授！」	2月10日～7月(予定)		
	「はじまりのとき」	3月18日～4月(予定)		
ス ポ ッ ト 展 示	「英語多読棚」	通年	多摩図書館青少年エリア*	/
	「扉をあけて」	通年		
	「羅針盤」	通年		
ミ ニ 展 示	「昔話絵本で世界を巡る」	4月1日～1月29日	多摩図書館開架書庫*	/
	「LLブック」	8月10日～3月20日		
	「あの人を知るための扉 児童文学作家案内」	4月1日～6月21日 9月6日～3月31日	児童研究書エリア*	
	「マイケル・ボンド追悼展示」	7月9日～8月16日		
	「かこさとし追悼展示」	10月4日～1月20日		
	「こどもと本とゆっくり向きあう」	通年		
多摩	2周年記念「森の中の本の森」	1月29日～3月31日	多摩図書館展示ウォール、開架書庫*	/

注1.図書館外イベントの来場者数はアンケート回収数である。

注2.*の会場は、閲覧室等の一部で展示を行っているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区 分		日 程	会 場	参加者数
ビジネス情報 サービス	講演会	ビジネスリーダー講演会 「出口流 グローバル活躍術」	中央図書館 (同時中継あり)	129名
	講演会	「お仕事小説から考える女性の働き方」	中央図書館	52名
法律情報 サービス	調べ方講座	「図書館×行政書士 もしも遺言が気になったら」	中央図書館	79名
	講演会	「これでだまされない！ 消費者トラブルの事例と対策」		42名
都市・ 東京情報 サービス	公開講座	「東京における景観の変遷」第1回 「銀座・丸の内における景観の変遷」	中央図書館 (同時中継あり)	135名
		「東京における景観の変遷」第2回 「東京を読む ～都市空間としての東京～」		10月13日
「東京大会に向けて一瞬を撮る Feel The Paralympic」 関連イベント	ギャラリートーク① 竹見脩吾氏	7月29日	中央図書館 企画展示室	26名
	ギャラリートーク② 清水一二氏	8月3日		20名
	ギャラリートーク③ 中井敦彦氏	8月11日		36名
	関連上映会①②③	7月29日、 8月3日、11日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	-名
	パラスポーツ体験 ボッチャ	7月26日～ 8月15日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	301名
	パラスポーツ体験 車いす		中央図書館 企画展示室	302名
パラスポーツ体験 義足	中央図書館 企画展示室		160名	
カザフスタン展関連イベント	カザフスタン展ギャラリートーク	4月7日	中央図書館 企画展示室	53名
	カザフスタン映画『ダイタロス』上映会	4月30日	中央図書館	65名
	カザフスタンの民族音楽コンサート	5月12日	多目的ホール	100名
	もっと知りたい！カザフスタンミニ講座	5月19日	中央図書館 企画展示室	52名
	カザフスタン映画『ダイタロス』上映会	6月2日	中央図書館 多目的ホール	59名
特別講演会	宇宙の中の地球	6月10日	中央図書館	181名
企画展示関連ワークショップ	東京文化財ウィーク2018 「大江戸プリントー出版文化から見る江戸の世相ー」関連ワークショップ	11月10日	中央図書館	52名
現代文化に関する講演会	「マンガ・アニメ・ゲームと東京」	1月13日	中央図書館	121名
大学・大学院留学説明会	「アメリカ留学、はじめの一歩！」	1月27日	中央図書館	105名
ペルー展関連イベント	映画上映会	3月17日	中央図書館 多目的ホール	100名
東京マガジンバンクカレッジ	連続ワークショップ「はじめての雑誌づくり～生活・興味の中から自分らしい発信をしてみよう～」	6月9日、16日 7月7日、21日	多摩図書館	23名
	講演会「廃線は語る～多摩地域を中心として～」	6月24日		153名
	講演会「教科書から辿(たど)る多摩の中世」	10月20日		58名
	地域散歩「兵(つわもの)の跡を歩く～東村山を中心として～」	10月20日	多摩地域(東村山)	31名
	現場探訪「“無思想人”大宅壮一の志を継ぐ雑誌図書館を訪ねる」	第1回 12月15日 第2回 1月19日	公益財団法人 大宅壮一文庫	22名
	連続ワークショップ 「中央線が好きだ。を書く」	1月12日、26日 2月9日	多摩図書館	18名
	講演会「お隣はどんな食卓？～雑誌『vesta』から見る世界の食文化～」	2月2日		80名

	区 分	日程	会場	参加者数
企画展示関連講演会	企画展示 「あの人を知るための扉」特別上映会と講演 「石井桃子特別上映会と森英男監督の講演」	8月4日	多摩図書館	84名
子供読書活動 推進事業	「これならできる！自由研究講座 ～わゴムのびよんをつくらう！～」	8月4日	多摩図書館	15名
	登録制乳幼児おはなし会「わらべうたの会」	通年		延564名
	登録制乳幼児おはなし会「ウリボウの会」	通年		延555名
	「赤ちゃんとおはなし会」	10月、11月 12月、1月		172名
	小学生対象おはなし会	5月、8月 11月、12月		90名
図書館 見学ツアー	全27回 (バックヤード3回、古き東京を知る2回、企業 情報探索2回、ナイト4回、本の修復見学2 回、外国人2回、身近な法律情報2回、美術2 回、新聞記事探索2回、手話で巡る1回、特別 文庫室ミニ2回、手作り和本体験1回、市場・ 業界情報1回、身近な医療情報1回)	4月24日～3月14日	中央図書館	183名
	全22回 (通常ツアー6回、ナイトツアー1回、視覚障害 者サービスを知るツアー1回、外国語ツアー1 回、Bunji Global Forum&Festa2018関連ツ アー3回、マガジバンクカレッジ関連ツアー4 回、企画展示関連ツアー5回、高校生対象ツ アー1回)	6～10月、2～3月	多摩図書館	250名
ショートセミナー (オンラインデータベースやCD- ROMの情報検索方法の説明、 関連資料やコーナーの紹介等)	全22回 (企業情報の調べ方6回、法令情報の調べ方2 回、美術情報の調べ方1回、薬の調べ方1回、 統計情報の調べ方2回、江戸明治東京重ね 地図1回、市場情報の調べ方1回、昔の会社 の調べ方1回、海外ビジネス情報の調べ方1 回、江戸名所図会1回、食品業界の調べ方1 回、人物情報の調べ方1回、東京の地価・路 線価1回、病院情報の調べ方1回、就活に役 立つ1回) ※電子書籍は別途計上	4月19日～3月13日	中央図書館	85名
ショートセミナー (電子書籍の使い方)	2回開催	9月19日 1月17日	中央図書館	7名
オンラインデータベース 検索講習会 (オンラインデータベースやCD- ROMの情報検索方法の説明)	新聞記事、事典類等検索ショートセミナー	7月～3月(4回)	多摩図書館	23名
	雑誌記事検索ショートセミナー	6月～3月(5回)		27名
	図書館での調べ方案内	7月～1月(3回)		16名
謎解きイベント	Live-Rally -運命をつなぐ物語2- (事前申込制)	11月16日(2回)	中央図書館	147名
	Live-Rally -運命をつなぐ物語2- (自由参加)	11月17日～12月20 日(33日間)	中央図書館	1,125名
国分寺まつり連動 多摩図書館PRイベント		11月4日	多摩図書館 セミナールーム	215名

(3) 映画会(多摩図書館)

区 分	内 容	日程	開催回数	参加者数
定例映画会	「世界のアニメⅠ ロシア」 ①蛙になったお姫様②魔法の小枝	4月8日	1回	63名
	「戦艦ポチョムキン」	4月19日	1回	66名
特別上映会	「アルプスの少女ハイジ」	4月30日	1回	76名
定例映画会	「チルバンとあざらし」	5月6日	1回	52名
	「ドキュメンタリー ～東京の島 八丈・小笠原～」 ①八丈の歴史と伝説を訪ねて②八丈島の歌と踊り③いきい き八丈 花の島④青き海原に抱かれて⑤小笠原の民謡・そ の歴史と風土	5月17日	1回	62名
	「世界のアニメⅡ 中国」 ①孫悟空の妖怪退治②鹿鈴	6月3日	1回	54名
	「ドキュメンタリー ～山水の自然～」 ①日本の水墨画②山水 京都国立博物館の展示から ③秦嶺 大熊猫④中国こころの風景	6月21日	1回	45名

区 分	内 容	日 程	開 催 回 数	参 加 者 数
定例映画会	「古都」	7月1日	1 回	66 名
	「ドキュメンタリー ～日本の世界遺産～」 ①世界遺産 白神山地②世界遺産 白川郷合掌造り ③歴史の都 京都④世界遺産 屋久島	7月19日	1 回	73 名
企画展示 関連上映会	企画展示「あの人を知るための扉」関連上映会	6月30日、 7月15日、 8月11日、25日	4 回	166 名
定例映画会	「世界のアニメⅢ ドイツ」 ①ゆかいなリトルボーイ 動物とちえくらべ ②灯台のゆかいななかまたち③七羽のからす	8月5日	1 回	75 名
	「アニメ 忍たま太郎 劇場版」	8月16日	1 回	59 名
特別上映会	「フラガール」	8月26日	1 回	126 名
定例映画会	「アニメ 白蛇伝」	9月2日	1 回	56 名
	「ドキュメンタリー ～明治からの100年～」 ①ショッキング・オ・ジャポン ビゴーが見た明治の日本 ②首都東京 その歴史とひろがり	9月20日	1 回	43 名
	「アニメ 九尾の狐と飛丸」	10月7日	1 回	79 名
	「ドキュメンタリー ～明治からの100年 Part2～」 ①につぼん洋食物語 ②くらしを豊かに100年 東京ガスの歩み ③くらしを衣装で残す 水島家の明治・大正・昭和	10月18日	1 回	42 名
	「世界のアニメⅣ アメリカ」 ①ロージーのおさんぽ ②チェンジズチェンジ ③ディズニーの3びきのこぶた ④ディズニーの赤ずきんちゃん ⑤くまのプーさんイーヨーのおたんじょうび ⑥ハロルドのぼうけん	11月4日	1 回	96 名
	「野菊の墓」	11月15日	1 回	132 名
	「世界のアニメⅤ カナダ」 ①クリスマス・ファンタジー②マトリョーシカ ③シュッシュポップ④フクロウとカラス⑤パラダイス ⑥木を植えた男 The man who planted trees.	12月2日	1 回	45 名
	「ドキュメンタリー ～日本の神事・民俗芸能～」 ①農の祈り②われは水軍 松山・興居島の船踊り ③炎が舞う-那智の火祭り-	12月20日	1 回	35 名
	「ドキュメンタリー トントンギコギコ図工の時間」	1月6日	1 回	32 名
	「ドキュメンタリー ～日本の食文化～」 ①二千年の味 日本の食文化②世界のデリカフーズ ③日本の自然と味 わさびの詩④マヨネーズ物語	1月17日	1 回	44 名
	特別上映会	第1回「ディズニーアニメ」 ①ミッキーマウスのおたん生日パーティー ②ミッキーマウスのキャンピングカー ③小さなゆうびんひこうきベドロ ④雄牛のフェルディナンド ⑤ブルートとカメのおくりもの ⑥魔法のシンフォニー	2月11日	1 回
第2回「かもめ食堂」		2月11日	1 回	137 名
定例映画会	「ドンマイ」	2月21日	1 回	54 名
	「世界のアニメⅥ チェコ共和国・スロバキア共和国」 ①リスとカメラマン②いたずらねことそうじき ③ねんどくんのさんぽ④空とぶ宝箱 ⑤みじかくなったえんぴつくん ⑥おじいさんと不思議なおくりもの	3月3日	1 回	58 名
	「世界のアニメⅦ イギリス」 ①妖精のおくりもの②ハレウインの甘い歌声 ③豆から生まれたビレン④人魚に恋した男 ⑤リンゴの精と王子様⑥グランパ すてきなおじいちゃん	3月21日	1 回	83 名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復を通して、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名		会場	回数	修了者数	
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「ビジネス情報」	中央図書館	1回	39名	
		テーマ別研修「美術情報」		1回	26名	
		テーマ別研修「法律情報」		1回	27名	
		テーマ別研修「東京情報」		1回	38名	
		テーマ別研修「新聞雑誌情報」	多摩図書館	1回	33名	
	子供の読書に関する講座	児童図書館専門研修Ⅰ（全3日間）	多摩図書館	1回	134名	
児童図書館専門研修Ⅱ		1回		78名		
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修（全6日間）	中央図書館	1回	25名	
		中級研修（全6日間）	多摩図書館	1回	19名	
		専門研修	中央図書館	1回	13名	
	障害者サービス研修			1回	84名	
講師派遣	対面朗読講習会（5月29日）		練馬区立光が丘図書館（1名派遣）	1回	17名	
	読み聞かせ講習会（6月8日）		府中市立中央図書館（1名派遣）	1回	40名	
	港区立図書館児童サービス担当職員研修（9月7日）		港区立中央図書館（1名派遣）	1回	41名	
	音訳者現任講習会（9月20日）		大田区立障がい者総合サポートセンター 声の図書室（1名派遣）	1回	55名	
	視覚障害者サービスについて（10月3日）		東村山市立中央図書館（1名派遣）	1回	30名	
	中央区児童研修会（10月11日）		中央区立日本橋図書館（2名派遣）	1回	60名	
	多摩地区図書館障がい者サービス研究会（10月12日）		昭島市保健福祉センター（1名派遣）	1回	28名	
	製本研修（1月15日）		足立区生涯学習センター	1回	30名	
	テーマ別レファレンス研修（東京情報）（1月17日）		台東区立中央図書館（2名派遣）	1回	18名	
レファレンス中級研修（東京情報）（1月31日）		世田谷区立中央図書館（2名派遣）	1回	17名		
製本の仕方（2月28日）		葛飾区立中央図書館	1回	16名		
製本研修	製本研修		中央図書館	2回	43名	
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会		中央図書館	2回	116名	
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会		中央図書館	2回	125名	
	障害者サービス事務担当者連絡会		中央図書館	1回	71名	
	児童・青少年サービス担当者会（合同開催）		多摩図書館	1回	94名	
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回（10月17日）	武蔵野市立吉祥寺図書館	1回	30名
			第2回（11月8日）	品川区立大崎図書館	1回	33名
		講演会	第1回（6月27日）	中央図書館	1回	55名
			第2回（1月25日）		1回	71名
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（7月31日）	中央図書館	1回	39名
			第2回（1月30日）		1回	38名
	協力事務担当者会	第1回（5月30日）	多摩図書館	1回	80名	
第2回（12月5日）		中央図書館	1回	66名		

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研修名	主催者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	児童図書館員養成専門講座（9月28日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	17名
	平成30年度専門性向上研修「日本の伝統・文化理解教育Ⅱ 都立中央図書館における日本の伝統・文化理解教育に関する取組」（8月8日）	東京都教職員研修センター	2名	1回	300名
	がん患者学セミナー「図書館員が教える がん情報の調べ方と図書館活用」（10月22日）	日本赤十字社医療センター	1名	1回	6名
事例発表	全国図書館大会 第7分科会 児童サービス（10月20日）	公益社団法人日本図書館協会	1名	1回	92名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第三次東京都子供読書活動推進計画」（平成27年2月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の読書活動や学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 242件（中央図書館 133件、多摩図書館 109件）
（授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等）

(イ) 子供の読書に関する相談 80件
（子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権や研修講師の情報等）

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
文京区立音羽中学校(1年 6名)、渋谷区立臨川小学校(2年 4名)、町田市立木曽中学校(1年 5名)、岩手県盛岡市立上田中学校(3年 6名)、宮城県気仙沼市立津谷中学校(2年 5名)、福井県坂井市立丸岡南中学校(3年 3名)	中央図書館	6校	29名
都立若葉総合高等学校(3年 1名)	多摩図書館	1校	1名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、職員の指導により、受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
都立桜修館中等教育学校(2年 4名)、都立富士高等学校附属中学校(2年 4名)、都立白鷗高等学校附属中学校(2年 4名)、都立三宅高等学校(2年 1名)、聖心女子学院高等科(1年 1名)	中央図書館	5校	14名
都立富士高等学校附属中学校(2年 2名)、府中市立府中第七中学校(2年 2名)、国分寺市立第三中学校(2年 2名)、都立西高等学校(1年 1名)、都立小金井特別支援学校(中学部 17名)、都立武蔵台学園(小学部6年 18名、高等部1年 3名)	多摩図書館	6校	45名

エ 校外学習の受入れ

学校からの申込みを受け、実施した。中央図書館では、主に図書館を利用した文献調査方法の説明及び館内見学を行った。多摩図書館では、小学校向けには主に見学や調べ学習など、中学校・高校向けには主に見学やインタビューなど、特別支援学校(学級)向けにはおはなし会や見学などを行った。

	受入校(学年 参加者数)	実施場所	校数	参加者数
(中学校)	The Montessori School of Tokyo(12-15歳 11名)		1校	11名
(高校)	都立三田高等学校(1年 281名)、都立小山台高等学校(1年 320名*)、都立小松川高校(1年 319名)、品川女子学院(中等部3年、高等部1年・2年 26名)、田園調布学園高等部(3年 40名)	中央図書館	5校	986名
(小学校)	国分寺市立第一小学校(3年 75名)、国分寺市立第二小学校(6年 135名)、国分寺市立第三小学校(3年 108名、6年 139名)、国分寺市立第四小学校(1年 164名、2年 271名、5年 121名、6年 300名)、国分寺市立第五小学校(2年 60名)、国分寺市立第六小学校(6年 96名)、国分寺市立第十小学校(3年 74名、4年 60名、6年 57名)、早稲田実業学校初等部(3年 114名)	多摩図書館	8校	1,774名
(高校・専門学校)	日本芸術高等学園(2年 30名)、国際パティシエ調理師専門学校(2年 20名)		2校	50名
(特別支援学校及び特別支援学級)	都立小金井特別支援学校(6回 延92名)、都立小平特別支援学校(2回 延7名)、都立武蔵台学園(7回 延126名)、国分寺市立第四小学校特別支援学級(2回 延30名)		4校	255名

(注) *国分寺市立第四小学校2年は3日間、6年は4日間に分けて受入れ。人数は全日数の合計。

*都立小山台高校は3日間に分けて受入れ。人数は全日数の合計。

オ 生徒と図書館をつなぐ取組

中高生の参加を募り、図書館や読書に関する、ワークショップ、講演会等を行った。

内容（実施日）	実施場所	参加校数	参加者数
POP王に聴く！魅力的な本のPOP作りの極意(2月3日)	多摩図書館	11校	22名

カ 出張おはなし会・選書支援・資料貸出等の支援

実施校等		主な支援内容	実施部署	校数	参加者数
(小学校)	目黒区立東山小学校、国分寺市立第四小学校、 国分寺市立第九小学校	資料貸出	多摩図書館	3校	-
(中学校)	羽村市立羽村第一中学校(2年 200名)	出張ブックトーク		1校	200名
(中高一貫教育校)	都立南多摩中等教育学校(1～6年 39名)	出張ブックトーク		1校	39名
	都立南多摩中等教育学校	モバイル・ライブラリー (英語多読資料のセット貸出)		1校	-
(高校)	都立世田谷総合高等学校(2年 25名)、 都立小平西高等学校(3年 22名)	出張読み聞かせ講座		2校	47名
	都立三田高等学校、都立翔陽高等学校、 都立小川高等学校、都立野津田高等学校、 都立国分寺高等学校	モバイル・ライブラリー (英語多読資料のセット貸出)		5校	-
(特別支援学校及び特別支援学級)	都立永福学園(1回 59名)、 都立大塚ろう学校永福分教室(1回 15名)、 都立久我山青光学園(1回 14名)、 都立小平特別支援学校(1回 9名)、 都立品川特別支援学校(1回 117名)、 都立青鳥特別支援学校(1回 35名)、 都立青峰学園(1回 12名)、 都立立川ろう学校(1回 24名)、 都立多摩桜の丘学園(1回 114名)、 都立中野特別支援学校(1回 180名)、 都立七生特別支援学校(1回 264名)、 都立八王子特別支援学校(1回 149名)、 都立八王子東特別支援学校(1回 62名)、 都立武蔵台学園(2回 延71名)	出張おはなし会		14校	1,125名
	都立青山特別支援学校、 都立大塚ろう学校永福分教室、 都立小金井特別支援学校、 都立立川ろう学校、都立七生特別支援学校	図書館整備支援		5校	-
	都立大泉特別支援学校、都立小平特別支援学校、 都立鹿本学園、都立品川特別支援学校、 都立城東特別支援学校、都立田無特別支援学校、 都立多摩桜の丘学園、都立七生特別支援学校、 都立八王子特別支援学校、 都立八王子東特別支援学校、 都立南大沢学園、都立武蔵台学園	学校図書館選書等相談会		12校	-
	東京学芸大学附属特別支援学校、 都立立川ろう学校、都立八王子特別支援学校	資料貸出		3校	-

(注) ()内の記載について…小学校・中学校・高校・中等教育学校は、対象学年と参加者数を記載。
特別支援学校及び特別支援学級は、実施回数と参加者数を記載。

キ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

- (ア) 「東京都子供読書活動推進資料 読み聞かせ ABC 改訂版」を都内の図書館等へ配布 1,860 部
 (イ) 「TAMA selection」を都内の高等学校等へ配布 2,200 部
 (ウ) 「学校支援ツール」を希望する学校へ個別配布 753 部

※配布した「学校支援ツール」の内容

「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」「これならできる！自由研究111枚のアイデアカード集冊子版」
 「読み聞かせに挑戦！中学生・高校生編」「ひとりでよめるよ」「えほんかるた」「ほん・本・ごほん」
 「ほん・本・ごほんクイズ」「ほん・本・ごほんブックトークシナリオ」

ク 教職員向けの研修講師等の派遣

実施校・研修主催者等	内 容	実施部署	参加者数
杉並区教育研究会図書館部	都立中央図書館見学(7月27日)	中央図書館	20名
副校長連絡会 (中部学校経営支援センター支所)	都立中央図書館見学(11月8日)		60名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動 I (7月25日)	多摩図書館	200名
都立志村学園	バックヤードツアー・読み聞かせ講座(10月2日)		10名
杉並区立済美教育センター	学校司書研修(10月31日)		17名
小金井市立東小学校PTA	読み聞かせ講座(11月8日)		30名
文化学園大学	児童サービス論(12月22日)		30名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研修名	会場	回数	修了者数	
実務研修	転入職員等研修	中央図書館	1回	10名	
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1回	1名
		(後期)	中央図書館	1回	1名
	都立図書館職員研修「図書館サービスにおけるユニバーサルデザイン」	中央図書館	1回	95名	
	非常勤職員研修	中央図書館	1回	5名	
製本研修	I	中央図書館	1回	11名	
	II		1回	14名	

区分	研修名	主催	日数	受講者数
派遣研修	中堅職員ステップアップ研修(1)	(公社)日本図書館協会	6日間	1名
	中堅職員ステップアップ研修(2)	(公社)日本図書館協会	9日間	1名
	関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省	4日間	1名
	図書館司書専門講座	文部科学省・国立教育政策研究所	10日間	1名
	レファレンス協同データベース事業フォーラム	国立国会図書館	1日間	1名
	ワークショップ「図書館員の未来準備」	株式会社未来の図書館研究所	3日間	1名
	法律図書館基礎講座	法律図書館連絡会	1日間	1名
	第35回医学情報サービス研究大会	医学情報サービス研究大会実行委員会	2日間	1名
	日本病院ライブラリー協会研修	日本病院ライブラリー協会	1日間	1名
	医療・健康情報サービス研修会フォローアップ研修	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	1日間	1名
	アジア情報研修	国立国会図書館・アジア経済研究所	2日間	1名
	児童図書館員養成専門講座	(公社)日本図書館協会	15日間	1名
	日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会	2日間	1名
	児童文学連続講座	国立国会図書館国際子ども図書館	2日間	1名
	児童サービス研究交流会	国立国会図書館国際子ども図書館	1日間	1名
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	3日間	1名
	サピエ研修会	全国視覚障害者情報提供施設協会	2日間	1名
	マルチメディアDAISY製作研修(PLEXTALK Producer)	(公財)日本障害者リハビリテーション協会	2日間	1名
	マルチメディアDAISY製作研修(Chatty Infty3)	(公財)日本障害者リハビリテーション協会	2日間	1名
	文化財の虫菌害・保存対策研修会 第40回	(公財)文化財虫菌害研究所	2日間	1名
	第29回 保存フォーラム	国立国会図書館	1日間	3名
	資料保存シンポジウム 第12回	情報保存研究会・(公社)日本図書館協会	1日間	2名
	データベース基礎	株式会社富士通ラーニングメディア	2日間	1名
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	2日間	2名
	著作権セミナー	文化庁著作権課	1日間	2名
	広報セミナー2018	日本広報協会	2日間	1名
	第104回全国図書館大会	(公社)日本図書館協会	1日間	1名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（平成30年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】		
事業概要 平成30年度版	平成30年7月	800部
東京都立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 193～No. 198	平成30年5月～平成31年3月	各300部
視覚障害者サービス情報 No. 59～No. 61	平成30年6月～平成31年2月	各250部
都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド 第3版	平成30年10月	2,000部
【多摩図書館】		
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月	8,000部
TAMA selection 高校生のためのおすすめ本200冊	平成31年3月	4,000部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎3階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	平成30年度販売部数
これならできる！自由研究 111枚のアイデアカード集 冊子版	平成26年6月5日	150円	99部
読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに 改訂版	平成31年3月28日	150円	1部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立中央図書館が所蔵する、明治期からの絵葉書や写真帖など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ
区市町村立図書館新聞雑誌総合目録	都内の区市町村立図書館で所蔵している新聞雑誌を検索したり、館別のタイトル一覧を見ることができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約24万3千点(冊)を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された10万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書(イ〜ケ)、③寄託・寄贈資料など(コ〜セ)からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。以下、資料の点数(冊数)には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約43,500点(冊)

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長祿年代(1450年代)から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646点は、昭和62年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約24,100点(冊)

加賀豊三郎氏(1872-1982)の旧蔵書で、和書、古文書、石牘、名家手蹟等を主とする。特に1,000余点に及ぶ黄表紙並びに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約20,000冊

文学博士 諸橋徹次氏(1883-1982)旧蔵の和漢書、経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約1,900冊

元大蔵大臣(昭和15)河田烈氏(1883-1963)の旧蔵書で、祖父河田迪斎てきさいから代々集積

れた書籍である。曾祖父に当たる佐藤一斎いっさいの「愛日楼全集」56巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約30,200冊

市村瓊次郎氏(1864-1947)の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究者にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約24,300冊

井上哲次郎(巽軒)氏(1885-1944)旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約7,600冊

実藤恵秀氏(1896-1985)の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約8,500点

元軍人であり、人物研究者としても活躍した渡辺金造(刀水)氏(1874-1965)が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡も含まれる。

ケ 特別買上文庫 諸家 約38,600点(冊)

戦時特別買上図書のうち、上記イ〜ク以外の30余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約6,000冊

言語関係資料には安藤文庫(安藤正次氏旧蔵)の落合直澄旧蔵書、文学関係資料には池田文庫(池田亀鑑氏旧蔵)の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫(蜂屋茂橘氏旧蔵)の草双紙類600余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約10,000点(冊)

岡文庫(岡千仞[鹿門]氏旧蔵)の稿本類、反町文庫(反町茂雄氏旧蔵)の仏教関係古写本、中山文庫(中山久四郎氏旧蔵)の朝鮮使節関係資料、宋戸文庫(宋戸昌氏旧蔵)の海雲楼博物雑纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫(岩垂憲徳氏旧蔵)、蜂屋文庫、横山文庫(横山健堂氏旧蔵)にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録がある。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなる。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だてはないが、中には希覯なものも含まれる。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

元日本郵船株式会社社長近藤 廉平氏(1848-1921)の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和6年に当時の市立日比谷図書館に寄託された。

昭和20年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢栄一(青淵)氏(1840-1931)が創始した文庫で、大正12年の関東大震災でその大半を失ったが、孫の敬三氏(1896-1963)がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和38年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

中山太郎氏(1876-1947)が収集した、正保2(1645)年から大正4(1915)年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975年に木子清忠氏(1913-1995)から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,600 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



武蔵國名勝圖會 多磨郡之巻

植田孟縉著 写 文政3(1820)年

加賀文庫 加 286

八王子千人同心組頭で、幕府監修の「新編武蔵國風土記稿」の編纂員の一人であった植田孟縉が編纂した多磨郡の地誌。

文政6年(1823)に幕府に献上された本の所在は不明だが、現代にはいくつかの写本が残されている。当館所蔵本は孟縉の自筆稿本とされ、それらの写本よりも成立の早いものと考えられる。昭和62年(1987)、東京都の有形文化財に指定された。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体が編集発行された郷土資料など図書約 247,900 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 630 種、雑誌は約 2,110 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の事典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

日本に関する外国語図書、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、蔵書において特色の一つとなっている。その一部は1階中央ホールの「Books on Japan」コーナーに置いている。

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 168,500 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

国際化に対応し、在日外国人の就業や生活に役立つ資料や他国の観光、都市計画、防災、福祉に関する資料、オリンピック関連資料を所蔵している。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 70,500 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、

中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 23,000 冊がある。

1975 年から収集を開始し、収集分野は多岐にわたるが、なかでも韓国・朝鮮の歴史や地理、政治・経済や風俗風習、さらに伝統芸能や文学に関する資料が充実している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、「創刊号コレクション」として雑誌の創刊号を収集し、平成 31 年 3 月末現在約 8,000 誌を所蔵している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 240,000 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 6,700 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。

また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

VII 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 28 期東京都立図書館協議会について

第 28 期の図書館協議会は、「これからの都立図書館に必要な利用環境について ー多様な学びや活動を支える機能ー」をテーマとして協議し、平成 31 年 3 月に提言をまとめた。平成 30 年度は定例会を 4 回、部会を 3 回開催した。

3 第 28 期東京都立図書館協議会提言の概要

第 27 期提言「世界都市・東京を支える情報センターを目指して」を更に展開する形で、「利用環境のあり方」に焦点を合わせて議論した。その際、「多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境」「誰もが快適に利用できる環境」の 2 つの視点で整理し、同時に、利用環境に関わる「サービス」「広報」のあり方についても検討を行い、提言を示した。(以下、抜粋)

(1) 多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境

「学び、知的活動を支える利用環境の整備」として、3 つの視点から提言を行った。

ア 情報資源を快適に利用するための環境の整備

多様かつ充実した利用環境の整備として、外部の意見を参考にした居心地の良い空間づくりや各階及び館全体でのゾーニング及びコンセプトの明示が重要である。また、ICT 利用環境の整備や施設の新設・更新の際の取組として、利用者が自由にアクセスできる情報資源の最大化も必要である。

イ 「学ぶ」「調べる」を支える環境の整備

社会に出てからも学び続ける、意欲ある学習者への支援として、都内公立図書館と連携した図書館サービスの広報、ニーズに即した情報提供及び調査研究支援を行っていく必要がある。また、児童・生徒の学びの支援として、積極的な校外学習の受入れや新たなプログラムの開発が期待される。

ウ 知的刺激、人と人が出会える場の整備

企画展示及び展示と連動した活動等について、より一層の広報が重要である。また、施設変更後は、入口付近に広くスペースを取った展示コーナーを設置し、入館への動機付けとすると共に、気軽に展示を見られるようにする等の工夫も考えられる。更に、図書館で人と人がつながり、新たな知的活動や知的刺激に出会える場として、参加者同士、参加者と講師の交流等、双方向的な学習形態の要素を含んだイベントを実施する。

(2) 誰もが快適に利用できる環境

都立図書館の利用経験があまりない都民及びそれらの人々に「伝える」関係者への施策を中心にまとめ、3 つの視点から提言を行った。

ア 非来館型サービスの充実

- ・ 都立図書館の所蔵する情報資源の活用促進のため、ディスカバリーサービスを一層推進していく。
- ・ 非来館型サービスの仕組みづくりとして、相対的に環境整備が不十分な都内公立図書館等へのオンラインデータベース導入支援、電子書籍の利用体制の整備、バーチャルレファレンスの充実などの検討が望まれる。また、都立図書館のサービスや魅力が容易に伝わるウェブ

デザインの構築も求められる。

イ 外国人に向けたサービスの推進

東京で暮らす外国人、東京を訪れる外国人それぞれに対応した環境整備や他図書館との連携を展開していく必要がある。また、大使館との連携強化も求められる。

ウ 潜在的利用者へのアプローチ

- ・ 都立図書館の利用を促進するために、身近な図書館を利用しているが都立図書館を利用しない、あるいは存在を知らない都民に直接アプローチする取組を行うと同時に、既に都立図書館の存在、サービス、保有する情報資源を知っており、「伝える」ことのできる関係者等へのアプローチを行うことが有効である。また、近隣住民等の利用促進も併せて行っていく。
- ・ デジタルアーカイブの活用促進にも引き続き努める。

4 第28期東京都立図書館協議会委員名簿（任期 平成29年7月1日～令和元年6月30日）

氏 名（五十音順）	職 名（平成31年3月現在）
内 田 剛 史	株式会社ミュージアムメディア研究所代表取締役
小 田 光 宏	青山学院大学教育人間科学部教授
鎌 倉 幸 子	アカデミック・リソース・ガイド株式会社 リレーションズ・ストラテジスト
川原田 康 子	有限会社kwhgアーキテクト代表取締役
古 川 正 之	小平市教育委員会教育長
坂 口 雅 樹	元明治大学学術・社会連携部和泉図書館事務長
笹 の ぶ え	東京都立三田高等学校長
富 澤 良 子	ライター
豊 岡 弘 敏	渋谷区教育委員会教育長（平成30年5月～）
中 井 孝 幸	愛知工業大学工学部教授
松 本 直 樹	慶應義塾大学文学部准教授
森 富 子	渋谷区教育委員会教育長（～平成30年3月）



平成31年3月18日 議長より中央図書館長に提言を手交
（左より、小田議長、西海館長）

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期 間	答申等年月	答 申 等
第 1 期	昭和 35 年 2 月 ～昭和 37 年 1 月	昭和 37 年 2 月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第 2 期	昭和 37 年 2 月 ～昭和 39 年 1 月	昭和 38 年 7 月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第 4 期	昭和 41 年 3 月 ～昭和 43 年 2 月	昭和 43 年 2 月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第 6 期	昭和 45 年 4 月 ～昭和 47 年 3 月	昭和 46 年 12 月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第 8 期	昭和 47 年 7 月 ～昭和 49 年 6 月	昭和 49 年 6 月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方 (答申)
第 11 期	昭和 55 年 9 月 ～昭和 57 年 9 月	中間答申 昭和 56 年 6 月 最終答申 昭和 57 年 5 月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第 15 期	昭和 63 年 10 月 ～平成 2 年 10 月	中間答申 平成 2 年 3 月 最終答申 平成 2 年 10 月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第 16 期	平成 3 年 1 月 ～平成 5 年 1 月	平成 4 年 12 月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第 17 期	平成 5 年 4 月 ～平成 7 年 4 月	平成 7 年 3 月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について (意見具申)
第 18 期	平成 7 年 7 月 ～平成 9 年 7 月	平成 9 年 3 月	21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第 19 期	平成 9 年 11 月 ～平成 11 年 10 月	平成 11 年 10 月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第 20 期	平成 11 年 11 月 ～平成 13 年 10 月	平成 13 年 10 月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －IT を活用したサービスの革新－ (提言)
第 21 期	平成 14 年 4 月 ～平成 16 年 3 月	平成 15 年 3 月 平成 16 年 2 月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか (提言 1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言 2)
第 22 期	平成 16 年 10 月 ～平成 18 年 9 月	平成 18 年 3 月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第 23 期	平成 18 年 12 月 ～平成 20 年 11 月	平成 20 年 11 月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第 24 期	平成 21 年 5 月 ～平成 23 年 4 月	平成 23 年 3 月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第 25 期	平成 23 年 5 月 ～平成 25 年 4 月	平成 25 年 3 月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第 26 期	平成 25 年 5 月 ～平成 27 年 4 月	平成 27 年 3 月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)
第 27 期	平成 27 年 7 月 ～平成 29 年 6 月	平成 29 年 2 月	世界都市・東京を支える情報センターを目指して －2020 年とその先に向けた提言－ (提言)
第 28 期	平成 29 年 7 月 ～令和元年 6 月	平成 31 年 3 月	これからの都立図書館に必要な利用環境について －多様な学びや活動を支える機能－ (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)

最終改正 平成28年11月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 利用者に対する情報サービス
- 3 都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 5 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 6 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 7 視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者(以下「視覚障害者等」という。)に対する資料の音訳及び録音
- 8 図書資料等の複写
- 9 図書館職員等に対する研修
- 10 海外の図書館等との交流
- 11 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表第1のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用

できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者等は、中央図書館の視覚障害者サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、東京都立図書館(中央図書館及び多摩図書館をいう。以下同じ。)の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する東京都立図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

第3章 多摩図書館

(事業)

第10条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 1 図書館資料の館内利用
- 2 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する利用者に対する情報サービス
- 3 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する都内公立図書館等に対する協力支援
- 4 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 5 視覚障害者等に対する資料の音訳及び録音
- 6 図書資料等の複写
- 7 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 8 東京都立図書館条例(昭和39年東京都条例第112号。以下「条例」という。)別表に掲げる施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の貸出し
- 9 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第11条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表第一のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第12条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(閲覧場所等)

第13条 多摩図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者等は、多摩図書館の音訳室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(視聴覚資料の館外貸出し)

第14条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続については、館長が別に定める。

(未返還団体に対する処置)

第15条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用

をさせないことができる。

(使用の申請)

第16条 施設等を使用しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用申請書(別記第1号様式。以下「使用申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の使用申請書の提出の期間は、使用月の前3月以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(使用の承認)

第17条 使用の承認は、申請を教育委員会が受理した順序による。

2 教育委員会は、前条第1項の規定により申請のあつた使用について承認をしたときは、東京都立多摩図書館施設等使用承認書(別記第2号様式。以下「使用承認書」という。)を交付するものとする。

3 前項に規定する使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)は、その使用の際に同項に規定する使用承認書を係員に提示しなければならない。

(使用時間等)

第18条 施設等の使用時間は、第11条の規定による開館時間にかかわらず、別表第2-1の項上欄に掲げる日において、同項下欄に掲げる使用単位に対応する時間とする。

2 施設等の使用ができない日(以下「使用停止日」という。)は、第11条の規定による休館日にかかわらず、別表第2-2の項のとおりとする。

3 教育委員会は、事情により前2項に定める使用時間及び使用停止日を変更し、又は臨時に使用停止日を指定することができる。

(使用料の額)

第19条 条例第8条で定める額は、別表第3のとおりとする。

(使用料の後納の申請)

第20条 条例第8条ただし書の規定により使用料を後納しようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料後納申請書(別記第3号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減額又は免除)

第21条 条例第14条の規定により使用料を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。

- 1 都内の区市町村教育委員会が使用するとき 5割
- 2 都立を除く都内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が主催する教育活動のために使用するとき 5割
- 3 官公署(教育委員会及び都内の区市町村教育委員会を除く。)が使用するとき 2割5分
- 4 前3号に掲げる場合のほか、教育委員会が特に必要があると認めるとき 教育委員会が定める割合

2 条例第14条の規定により使用料の減額又は免除の取扱いを受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料減免申請書(別記第4号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の還付)

第22条 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部を還付することができる場合は、条例第11条第4号又は第5号の規定により使用の承認を取り消し、

使用を制限し、又は使用の停止を命じたため、当該施設等の全部又は一部を使用することができなかつた場合とする。

2 条例第15条ただし書の規定により使用料の全部又は一部の還付を受けようとする者は、東京都立多摩図書館施設等使用料還付申請書(別記第5号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

(使用者の義務)

第23条 使用者は、全て館長の指示に従わなければならない。

第4章 補則

(委任)

第24条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)

2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27条)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17条)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18条)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27条)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24条)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34条)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75条)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する、

附 則(平成28年教委規則第46条)

この規則は、平成28年11月1日から施行する。

別表第1(第4条、第11条関係)

館の名称		中央図書館及び多摩図書館
開館時間	月曜日から 金曜日まで	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び 日曜日	午前10時から午後5時30分まで
休館日	年始	1月1日から同月3日まで
	年末	12月29日から同月31日まで
	設備等の 保守点検日	毎月1日以内
	館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日
	特別整理期間	1年のうち12日以内

別表第2（第18条関係）

1 使用時間

区分	使用単位
月曜日から 金曜日まで	午前、午後、夜間及び休日。ただし、その 日が休日に当たるときは、午前及び午後
土曜日及び 日曜日	午前及び午後

備考 使用単位は、午前は午前9時から正午まで、午後は午後1時から午後5時まで、夜間は午後6時から午後9時まで、全日は午前9時から午後9時までとする。

2 使用停止日

区分	使用停止日
年始	1月1日から同月3日まで
年末	12月29日から同月31日まで
設備等の保守点検日	1年のうち1日

別表第3（第19条関係）

区分		使用単位	金額	
施設	セミナー ルーム	分割しないで 使用するとき。	午前	8,100円
			午後	10,800円
			夜間	8,100円
			全日	27,000円
	分割して使用 するとき。	1	午前	4,200円
			午後	5,600円
			夜間	4,200円
			全日	14,200円
		2	午前	3,800円
			午後	5,100円
			夜間	3,800円
			全日	12,800円
	講師控室	1	午前	300円
			午後	400円
夜間			300円	
全日			1,000円	
2		午前	300円	
		午後	400円	
		夜間	300円	
		全日	1,000円	
附帯 設備	音響映像操作機器	一式1回	2,900円	
	液晶モニター	一式1回	120円	
	プロジェクター	一式1回	840円	
	ワイヤレスマイクセット	一式1回	240円	

(別記様式第1号から第5号までは、掲載省略。)

2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19 館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都制施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 3 東京都立中央図書館建設工事竣工
10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和 47 年 12 月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画-1972-に組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
48. 10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和 51 年 4 月 東京都立江東図書館設立、昭和 51 年 6 月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)
60. 3 都立図書館電算システム設計開始
61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正(昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管)
62. 3 東京都立図書館設置条例改正(名称変更:東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立)
5 都立多摩図書館開館

- 昭和 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
- 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(年鑑・年報)稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
- 10 都立図書館電算システム逐次刊行物(新聞・雑誌)稼動
2. 3 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会中間報告)
- 10 「新日比谷図書館の機能について」(都立図書館協議会答申)
4. 4 CD-ROMによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
- 12 「都立図書館の資料の保存機能について」(都立図書館協議会意見)
7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」(第17期東京都立図書館協議会意見書)
9. 3 「新日比谷図書館基本構想」(教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会)
「21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」(第18期東京都立図書館協議会答申)
10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定(都立3館)
- 7 都立図書館処務規則全部改正
11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか?－社会問題への図書館の関わり方」(第19期東京都立図書館協議会提言)
- 11 「資料保存計画」策定(東京都立図書館資料保存委員会)
東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
- 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
12. 2 都立図書館新電算システム稼動
都立図書館ホームページ開設
- 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
- 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館(平成14年2月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送)
- 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－ITを活用したサービスの革新」
(第20期東京都立図書館協議会提言)
- 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」
(都立図書館あり方検討委員会報告)
- 3 「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
- 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の3館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
- 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」(第21期東京都立図書館協議会提言1)
- 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始(平成19年度から、「ビジネス情報サービス」に変更)
16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」(第21期東京都立図書館協議会提言2)
- 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
- 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」(第二次都立図書館あり方検討委員会報告)
18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」(第22期東京都立図書館協議会答申)
- 7 都立中央図書館重点的情報サービス「法律情報サービス」を開始
- 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
- 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース(G-Searchサービス)の有償提供の試行開始
- 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の8係を6係に組織改正
- 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性に

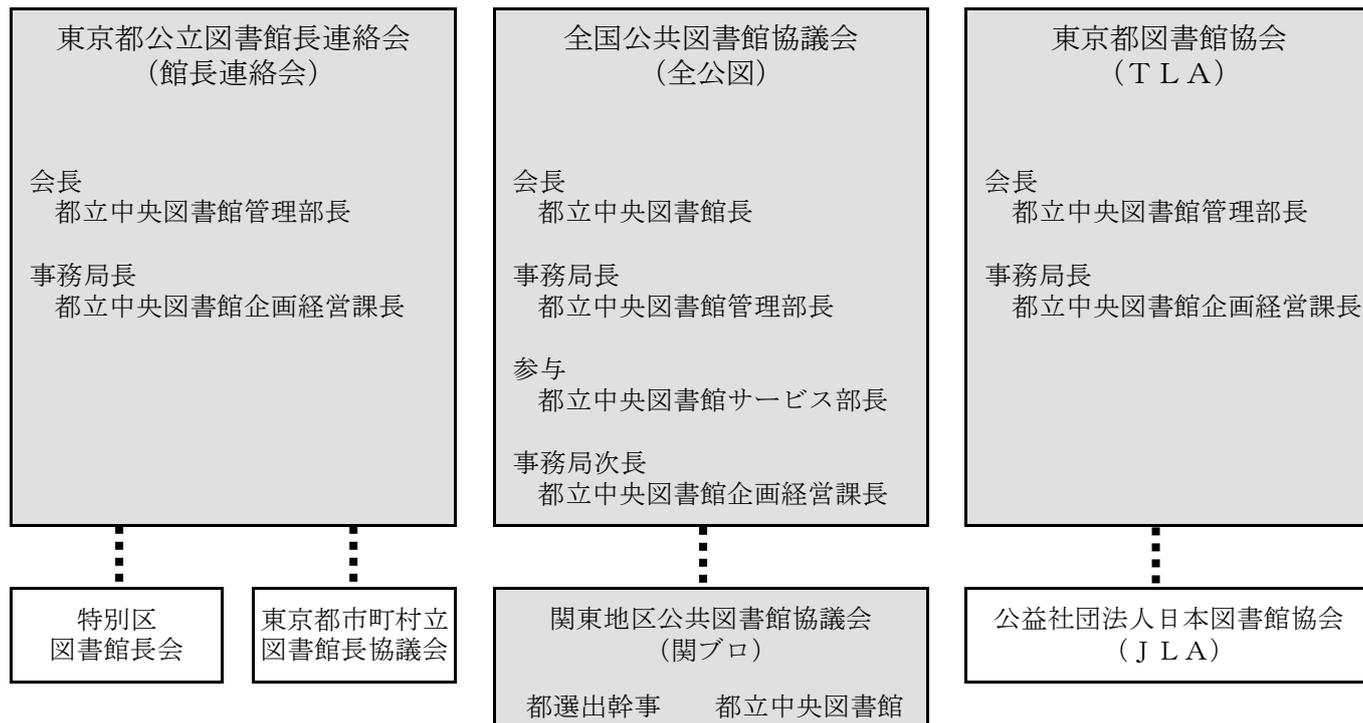
ついて合意

- 平成 20. 11 都立図書館創立 100 周年<明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館>
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
- 12 「東京都立図書館条例」「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
 - 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
 - 4 都立中央図書館 複写受付時間の変更（午前 10 時から開始）
 - 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
 - 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
 - 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
 22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
都立中央図書館 文部科学省の呼びかけにより有志図書館で結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
 - 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
 - 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
 23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
 - 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
 - 11 東京都立図書館 Twitter を開始
 - 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
 24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
 - 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
 25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
 - 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して—より質の高い図書館サービスの追求—」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
 - 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
 - 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
 26. 1 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
 - 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
 27. 2 都立国際高等学校の国際バカロレア認定取得に向けた図書室改善整備のため、都立中央図書館から職員を派遣
 - 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
 - 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告
「今後 3 か年の重点目標」を設定
 - 7 都立中央図書館 カフェコーナーを 1 階にオープン
 28. 2 「都立図書館改善の方策」を策定
 - 8 都立多摩図書館建設工事竣工
 - 11 「東京都立図書館館則」、「東京都立図書館処務規則」の一部改正
 - 12 都立中央図書館 2020 年に向けた新展示コーナー（オリンピック・パラリンピック、伝統・文化、Books on Japan）を開設
 29. 1 「東京都立図書館条例」の一部改正
都立多摩図書館移転開館（開館時間の延長、セミナールームの貸出開始）

- 平成 29. 2 「世界都市・東京を支える情報センターを目指して-2020 年とその先に向けた提言-」（第 27 期東京都立図書館協議会提言）
- 10 「東京都立図書館の入館時における持込み手荷物の制限の緩和について」 試行的実施
 - 11 「東京都立図書館アドバイザー」の委嘱開始
 - 都立中央図書館 「キッズルーム（授乳室付き）」を開設
 - 都立中央図書館 カザフスタン共和国との図書国際交換に伴う贈呈式を実施
 - 30. 2 都立中央図書館 謎解きイベント「Live-Rally」を初開催
 - 3 都立中央図書館 「調査研究ルーム」・「グリーンビューシート」を開設
 - 6 都立中央図書館 5階の「音声映像資料室」を「音声・映像コーナー」にリニューアルして 1階に移転
 - 9 都立中央図書館 「交流ルーム」、「コミックコーナー」を開設
 - 10 「Old meets New 東京 150 年」事業「東京 150 年祭」（浜離宮恩賜庭園）に出展
 - 31. 3 「これからの都立図書館に必要な利用環境について」（第 28 期東京都立図書館協議会提言）

3 図書館関係団体・組織一覧

(平成31年4月1日現在)



(1) 東京都公立図書館長連絡会（館長連絡会）

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連絡会設置要綱（17中図管企第74号）により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村立図書館長協議会会長が充てられている。

(2) 全国公共図書館協議会（全公図）

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行い、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(3) 東京都図書館協会（TLA）

都内の図書館及び類縁機関並びに、これらに関係する者の連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和24年7月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

(4) 関東地区公共図書館協議会（関プロ）

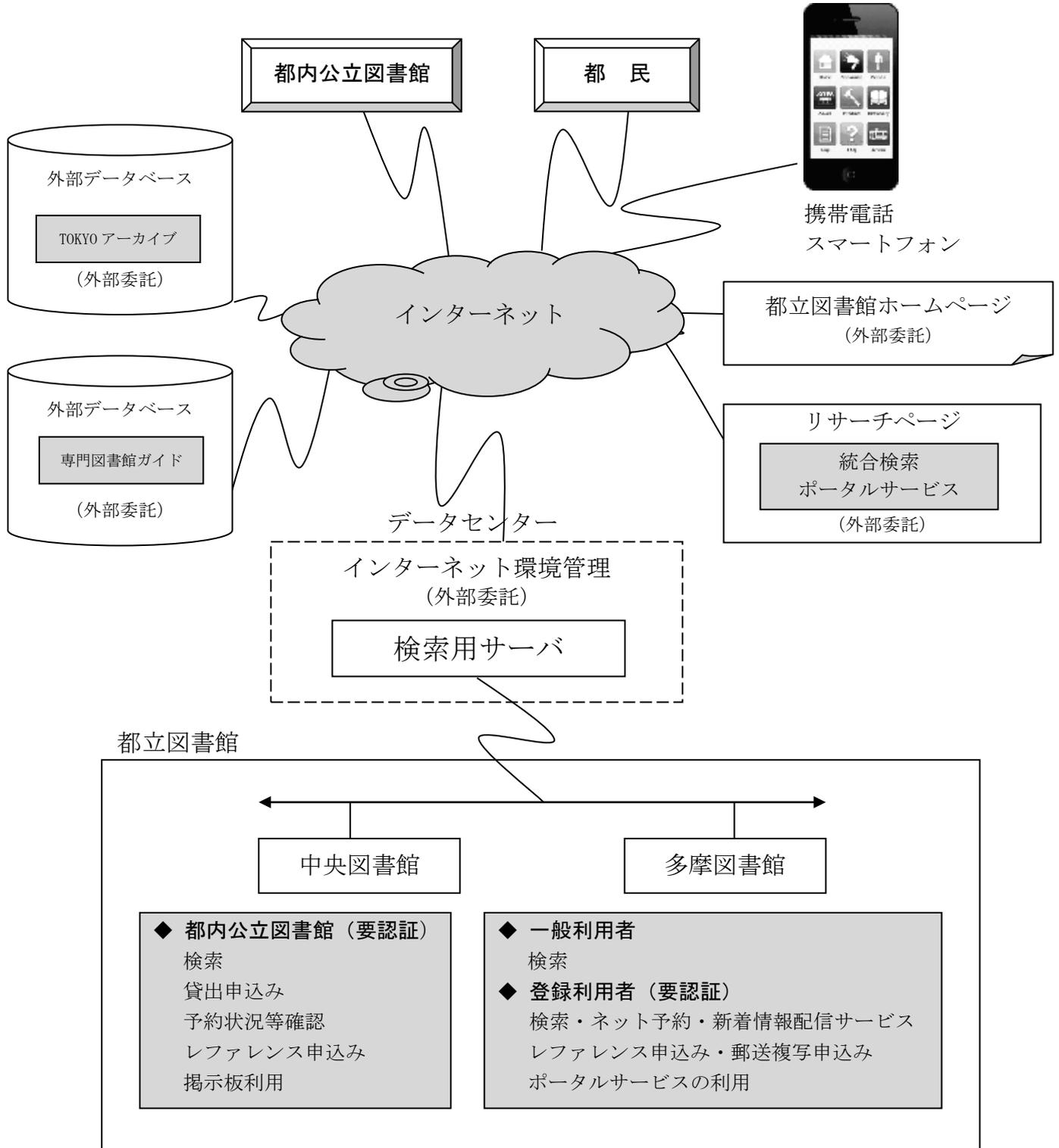
関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICS I) : 昭和63年3月～

第2期 (METLICS II) : 平成12年2月～ 平成17年6月に機器更新

第3期 (METLICS III) : 平成23年12月～ 平成28年12月に機器更新



Web方式のシステム

- ・ サーバ : 7台
- ・ クライアント : 231台
- 業務用 : 138台 (中央 105台、多摩 33台)
- 利用者用 : 93台 (中央 66台、多摩 27台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校の生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<https://www.library.metro.tokyo.jp/>



携帯電話からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
http://www.library.metro.tokyo.jp/feature_phone/index.html
- 携帯電話からの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.jp/winj/mobileopac/top.do>

東京都立図書館 Twitter

https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook

<https://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録ください。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

＊総合案内・相談カウンター

司書職員が資料の探し方や調べ方などの相談に応じます。

＊資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

＊複写受付カウンター

＊展示コーナー

東京 2020 大会に向けて情報発信を行う展示コーナーです。オリンピック・パラリンピックの歴史や過去の大会の記録、競技種目などを紹介する「オリンピック・パラリンピックコーナー」、江戸・東京の歴史や文化を紹介する「伝統・文化コーナー」、海外から見た日本を紹介する「Books on Japan (日本に関する洋書コーナー)」の3つで構成されています。

○ 重点的情報コーナー

＊ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

＊法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

＊健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。さらに、平成 30 年 10 月に、介護を始める時に読む本、介護技術の本、予防の本、制度・施設の本など約 170 冊を置く「介護応援コーナー」を開設しました。

＊闘病記文庫

闘病体験記録約 900 冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の 3 か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌 13 誌も備えています。

過去の新聞（約 500 紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約 4,000 誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。

また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を 9 つのテーマで配置するとともに、国内の政



▲中央図書館



▲展示コーナー



▲都市・東京情報コーナー

令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約 39,000 冊です。

○ **音声・映像コーナー**

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD 等、17,882 点を所蔵しています（4 席）。

○ **カフェコーナー**

緑に囲まれながら、休息のひと時をお楽しみいただけます。

2 階

○ **社会・自然科学系 資料・閲覧室**

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本産業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3 階

○ **人文科学系 資料・閲覧室**

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 21 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」は、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。

さらに、平成 30 年 9 月にはコミックコーナーを開設しました（一部新刊は 1 階に配置）。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ **視覚障害者サービス室**

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（デイジー図書を含む。）6,057 点、点字図書 693 点、点字雑誌 8 種等の資料が利用できます。

また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4 階

○ **閲覧室**

ほぼ全席がパソコン用の電源のある席で、公衆無線 LAN が利用できます。

○ **企画展示室**

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ **グループ閲覧室**

図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ **多目的ホール**

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室

5 階

○ **閲覧室**

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ **グリーンビューシート**

有栖川宮記念公園の樹木を一望しながら、ゆったりとくつろぎながらリフレッシュできる空間です。（12 席）

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約 243,000 点（冊）をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています（p. 31～32 参照）。

また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」で一部を公開しています。

○ 調査研究ルーム

全席パーテーション付きの電源のある個人席で無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。また、豊富な資料を活用して、従来にはないセカンドオフィスや書斎として利用できます。（19席）

○ 交流ルーム

図書館の資料を利用し、グループで自由に議論しながら調査研究を行ったり、異業種交流等の場として利用できる閲覧室です。机の配置なども自由に変更でき、学校活動におけるアクティブラーニングなどにも活用できます。（36 席）

○ キッズルーム（授乳室付き）

お子様連れの方々も気兼ねなく図書館をご利用いただけるよう、キッズルームにはおすすめの絵本を、授乳室には授乳用の椅子やおむつ交換台を用意しています。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。

＝各階＝

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1 階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1 階から 3 階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1 階から 4 階の閲覧席、5 階調査研究ルーム・交流ルームで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）

1 階から 4 階の閲覧室、5 階カフェテリア・調査研究ルーム・交流ルームで無料 Wi-Fi（FREE Wi-Fi & TOKYO）が利用できます。

◆ デジタルサイネージ

各階にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ 案内ホットライン

2 階及び 3 階には、案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・ 1 階受付で、車椅子の貸出しをしています。
- ・ 1 階新聞閲覧コーナー、2 階資料・閲覧室、3 階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・ 1 階と 2 階の多目的トイレには、おむつ替え用ベッド、3 階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・ 1 階と 4 階に AED を設置しています。

【各階の閲覧席数】

1 階	中央ホール	16
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	28
	音声・映像コーナー	4
2 階	資料・閲覧室	194
3 階	資料・閲覧室	276
	閲覧室	160
4 階	グループ閲覧室	24
	閲覧室	72
5 階	グリーンビューシート	12
	特別文庫室	10
	調査研究ルーム	19
	交流ルーム	36

【建 物 概 要】

昭和 47 年 3 月 竣工
 昭和 48 年 1 月 新築、開館
 平成 7 年 7 月～平成 8 年 5 月 施設・設備改修
 平成 20 年 5 月～12 月 施設・設備改修
 鉄筋鉄骨コンクリート 地上 5 階、地下 2 階
 敷地面積 9,157.21 m²
 延べ床面積 延 23,196.21 m²
 収蔵可能冊数 約 208 万冊（うち、開架 35 万冊）
 閲覧席 916 席（スツール席含め、1,062 席）
 敷地内全面禁煙

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「森の中の本の森」をコンセプトに、緑豊かな周辺環境との調和と環境への配慮を実現し、平成 29 年 1 月、立川市から国分寺市に移転オープンしました。



▲多摩図書館

○ 総合案内

入館証の受け渡しやセミナールームの予約受付のほか、周辺・都内の観光情報の提供も行っています。

○ 相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

○ 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の閲覧、返却のほか、オンラインデータベース等の利用を受け付けます。

○ 蔵書検索・インターネット

蔵書検索、インターネット閲覧に加え、30 種類以上の各種オンラインデータベースを利用して雑誌記事や論文情報などの検索ができます。

○ 展示エリア・展示ウォール

図書館の資料を使った展示やテーマごとの企画展示を行います。

○ 新聞エリア

全国紙、地方紙、スポーツ紙、外国語紙など、最新約 1 か月分の新聞 40 紙を配架しています。新聞を写真形式で保存したマイクロフィルムを見ることもできます。



▲雑誌エリア

○ 雑誌エリア

継続して収集している雑誌約 6,000 タイトルのうち、約 1,500 タイトルの最新約 1 年分を配架しています。このうち、日本語雑誌は 50 のジャンル別に約 1,100 タイトル、外国語雑誌は 12 か国語約 400 タイトルを備えています。

○ 参考図書エリア

辞典、事典類や地図など約 3,300 冊の参考図書のほか、都政資料も備えています。

○ 青少年エリア

中学生、高校生世代が楽しめる本や、学習に役立つ資料を約 23,000 冊揃えています。異文化交流や海外体験など、世界へ目を向けるきっかけになるような資料や、職業や進路の参考になる本や情報など、様々な角度から本を展示しています。

○ 児童研究書エリア

子供の本について研究した資料や、子供の読書に関する資料が約 10,000 冊あります。

また、子供の読書活動推進や、学校での読書活動を支援するために作成した様々なブックリストやガイドブックも紹介しています。



▲青少年エリア



▲こどものへや

○ こどものへや

約 13,000 冊の絵本や物語、知識の本、外国語の児童書などを揃えています。専用のカウンターを設置し、子供たちが気軽に質問や相談ができるようにしています。

○ えほんのこべや

大型絵本、紙芝居もある絵本コーナーです。靴を脱いでコルク床に座りながら、親子や友達同士でゆっくりと絵本を楽しむことができます。

○ グループ閲覧室

グループで図書館の資料を使い、学習・調査研究活動ができます。貸切で利用することもできます。

○ 開架書庫

入室して利用できる書庫です。継続して収集している雑誌のうち、約 4,500 タイトルの最新 1 年分があります。

また、新着 1 年分の児童書などを揃えた選書コーナーを設置し、学校や公立図書館での選書を支援しています。さらに、日本語で書かれた絵本約 32,000 冊があります。

○ 対面音訳室

視覚障害者等に対して、対面朗読及び録音資料の作成を行っています。

○ セミナールーム

研修会や講習会等に利用できる、約 200 名収容可能な有料貸出施設です。

○ カフェスペース

飲食ができるスペースです。ゆっくりと休憩することができます。

◆ パソコン席

閲覧席、カフェスペースで、持参したパソコンを利用できます。

◆ 無料 Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO)

閲覧席、カフェスペースで利用できます。

◆ デジタルサイネージ

エントランスと閲覧室にデジタルサイネージを設置しており、図書の配置場所やフロアマップ、イベント情報など、様々なサービスの情報を見ることができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・総合案内で、車椅子の貸出しをしています。
- ・「相談カウンター」や「こどものへやカウンター」で、筆談等の対応をします。
- ・「こどものへやカウンター」でベビーカーの貸出しをしています。
- ・オストメイト対応設備があるトイレのほか、親子で利用できるトイレや授乳室があります。
- ・入口に AED を設置しています。

【建 物 概 要】

平成 28 年 8 月	竣工
平成 29 年 1 月	移転開館
鉄筋鉄骨コンクリート	地上 3 階
敷地面積	7,216.74 m ²
延べ床面積	延 8,982 m ²
収蔵可能冊数	約 285 万冊 (うち、開架 10 万冊)
閲覧席	227 席
敷地内全面禁煙	

8 案内図

中央図書館

都立図書館の中心館として、豊富な資料で調査研究活動を支援するレファレンスサービスなど、様々な情報サービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

 ただし、
 - ・特別文庫室 午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



中央図書館

〒106-8575 港区南麻布 5-7-13 (有栖川宮記念公園内)
電話 03-3442-8451(代)

- 【交通】
- ・東京メトロ日比谷線 広尾駅 徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線 麻布十番駅 徒歩20分
 - ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線 六本木駅 徒歩20分
 - ・都バス 橋86系統 目黒駅～新橋駅前・東京タワー 愛育クリニック前 徒歩2分
 - ・港区コミュニティバス (ちいばす) 麻布西ルート 97 愛育クリニック、98 有栖川宮記念公園 徒歩2分

多摩図書館

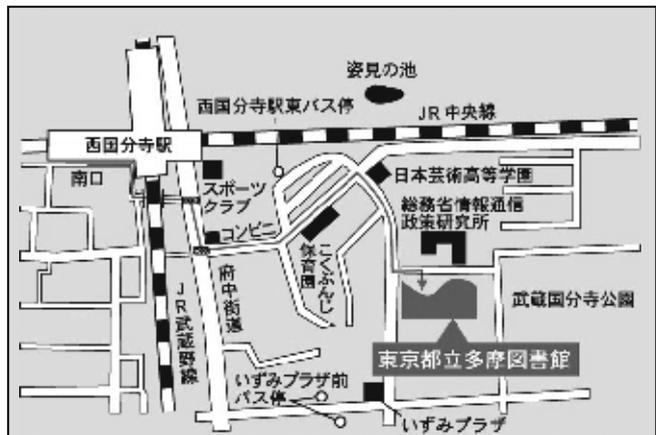
雑誌、児童・青少年資料の閲覧及び16ミリフィルムの団体貸出などのサービスを行っている。

資料の個人館外貸出は行っていない。

- 開館時間

月～金曜日	午前10時～午後9時
土・日・祝・休日	午前10時～午後5時30分

- 休館日
 - ・館内整理日 毎月第1木曜日（祝・休日又は他の休館日に当たる場合は第2木曜日）
 - ・設備等の保守点検日 毎月1回
 - ・特別整理期間 年間12日以内
 - ・年末年始 12月29日～1月3日



多摩図書館

〒185-8520 国分寺市泉町 2-2-26
電話 042-359-4020

- 【交通】
- ・JR中央線・武蔵野線 西国分寺駅南口 徒歩7分
 - ・京王バス 寺85系統 (総合医療センター～国分寺駅南口～小平団地) いずみプラザ前 徒歩5分
 - ・ぶんバス 万葉・けやきルート、北町ルート 西国分寺駅東 徒歩4分

事業概要 令和元年度版

登録番号 (31) 第 5号

主要刊行物指定

令和元年7月30日 発行

編集・発行

東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名

株式会社 能登浦

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

